
我孫子市定住に関するアンケート調査報告書
(首都圏住民調査)

平成 25 年 8 月

我孫子市 企画課

目 次

◆調査の概要	1
◆調査結果の概要	2
◆調査結果の考察	5
1. 属性	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 居住地	8
(4) 世帯構成	9
(5) 子どもの年齢	10
(6) 職業	10
(7) 居住形態	11
(8) 世帯の税込年収	11
2. 通勤・通学先について	12
(1) 通勤・通学先	12
(2) 現在の通勤・通学時間	14
(3) 許容できる通勤・通学時間	16
3. 休日の過ごし方について	19
4. 定住について	22
(1) 親の近くへの居留意向	22
(2) 生まれ育ったまちへの居留意向	25
(3) 定住したい場所	28
(4) 定住したい場所を選んだ理由	30
(5) 希望する居住形態について	33
(6) 住宅購入を検討することになったきっかけ	36
(7) 住む場所を決める際に重視すること	38
(8) 住宅購入のための情報収集手段	42
5. 我孫子市について	44
(1) 我孫子市のイメージ	44
(2) 我孫子市について知っていること	51
(3) 我孫子市への居留意向（住宅購入検討の候補地となるか）	54
(4) 我孫子市への居留意向を選んだ理由	57
6. 行政サービス・事業について	59
◆資料 アンケート調査票	63

◆調査の概要

[1] 調査の目的

本調査は、首都圏の住民を対象に、住宅購入に関することやライフスタイルなどを聞き、市の定住化策を検討するうえでの基礎資料とすることを目的とする。

[2] 調査の方法と回収結果

- ・調査対象：我孫子市以外の千葉県、東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県在住の満25歳～49歳で今後住宅を購入する意向のある男女
- ・調査時期：平成25年6月21日（金）～6月28日（金）
- ・有効回答：1,000人

[3] 報告書の見方について

集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100%にならない場合がある。

回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は、全ての比率を合計すると100%を超えることがある。

質問の回答者数は「n」として掲載した。

複数回答の質問については図表に《MA》と表示した。

本文や図表中の選択肢の表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。

分析軸に使用した属性項目は、未回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と異なる場合がある。

◆調査結果の概要

●通勤・通学先について

(1) 通勤・通学先

通勤・通学先は、「東京都」が43.9%と最も高く、以下「茨城県」(17.8%)、「神奈川県」(14.0%)、「千葉県」(11.9%)、「埼玉県」(11.7%)となっている。

(2) 現在の通勤・通学時間

現在の通勤・通学時間は、「30分～1時間未満」が36.0%と最も高く、以下「1時間～1時間30分未満」(19.4%)、「15分～30分未満」(18.8%)などとなっている。1時間以上は、合計で3割弱となった。

(3) 許容できる通勤・通学時間

許容できる通勤・通学時間は、「30分～1時間未満」が49.1%と最も高く、以下「1時間～1時間30分未満」(25.1%)、「15分～30分未満」(14.3%)などとなっている。1時間以上は合計で3割強と、現在の通勤・通学時間(同26.8%)に比べて高くなっており、許容時間が広がっている。

●休日の過ごし方について

休日の過ごし方は、「買い物」が58.3%と最も高く、以下「インターネット」(33.6%)、「何もせず休養する」(27.3%)、「観光、レジャー」(26.6%)などとなっている。

●定住について

(1) 親の近くへの居住意向

「将来、親の近くに住みたいと思うか」をたずねたところ、「思う(思う+やや思う)」が66.7%、「思わない(あまり思わない+思わない)」が26.6%となった。

(2) 生まれ育ったまちへの居住意向

「生まれ育ったまちに住みたいと思うか」をたずねたところ、「思う(思う+やや思う)」が51.0%、「思わない(あまり思わない+思わない)」が42.7%となった。

(3) 定住したい場所

定住したい場所は、「東京都」が26.3%と最も高く、以下「神奈川県」(16.2%)、「千葉県」「茨城県」(12.8%)などとなっている。

(4) 定住したい場所を選んだ理由

定住したい場所を選んだ理由をみると、「その場所をよく知っているから」が54.2%と最も高く、以下「親や子どもが近くにいるから」(26.2%)、「公共交通の利便性が高いから」(24.3%)などとなっている。

一方、「子育て施策が充実しているから」、「災害に強いと思うから」、「医療福祉が充実しているから」、「自治体の税制優遇があるから」などは低くなっている。

(5) 希望する居住形態について

希望する居住形態は、「注文戸建住宅（新築）」が 54.6%と最も高く、以下「新築分譲マンション」（42.2%）、「分譲（建売）戸建住宅（新築）」（34.8%）などとなっている。

(6) 住宅購入を検討することになったきっかけ

住宅購入を検討することになったきっかけは、「結婚」が 22.0%と最も高く、以下「賃貸の契約更新時期だから」（18.9%）、「消費増税が迫っているから」（14.3%）などとなっている。

(7) 住む場所を決める際に重視すること

住む場所を決める際に重視することは、「通勤先・通学先との距離」が 44.6%と最も高く、以下「公共交通の利便性」（39.7%）、「不動産価格」（35.8%）などとなっている。

一方、「住宅関連の助成」（2.1%）や「保育園への入りやすさ」（1.4%）の比率は低くなっている。

(8) 住宅購入のための情報収集手段

住宅購入のための情報収集手段は、「住宅情報のホームページ」が 40.0%と最も高く、以下「新聞折り込み広告」（22.0%）、「住宅情報雑誌」（20.3%）などとなっている。

●我孫子市について

(1) 我孫子市のイメージ

我孫子市のイメージをたずねたところ、「思う（そう思う＋ややそう思う）」と回答した比率は「自然豊か」（61.0%）が最も高く、次いで「地価が安い」（48.9%）となっている。

「思わない（あまりそう思わない＋そう思わない）」が「思う（そう思う＋ややそう思う）」を上回っているのは、「都心に近い」、「買い物が便利」などとなっている。

(2) 我孫子市について知っていること

我孫子市について知っていることは、「常磐線が通っている」が 43.8%と最も高く、次いで「千代田線始発駅である」が 28.1%、「成田線が通っている」が 24.9%と鉄道に関する認知度が高い。

地域資源に関するものでは「手賀沼がある」が 24.6%、「手賀沼花火大会を開催」が 10.8%などとなっている。

また、我孫子市が力を入れている「保育園の待機児童がゼロ」、「小学校の学童保育の待機児童がゼロ」、「医療費助成が中学3年まで受けられる」などの子育て支援施策についての認知度は低くなっている。

なお、我孫子市について「知っていることはない」の比率が2番目に高く、4割近くを占めている。

(3) 我孫子市への居留意向

我孫子市への居留意向（住宅購入検討の候補地となると思うか）をたずねたところ、「思う（思う＋ややそう思う）」と回答した比率は 18.5%にとどまり、「思わない（あまり思わない）＋（思わない）」と回答した比率は 81.5%と 8 割強を占めている。

(4) 我孫子市への居留意向を選んだ理由

我孫子市への居留意向（住宅購入検討の候補地となると思うか）を選んだ理由をみると、候補地となる理由では、「公共交通の利便性が高いから」が 6.1%と最も高く、以下「通勤・通学に便利だから」（5.4%）、「自然環境が良いから」（5.3%）などとなっている。

一方、候補地とならない理由では、「イメージがわからないから」が 39.0%と最も高く、以下「通学・通勤に不便だから」（27.1%）、「親や子どもが遠くにいるから」（16.2%）などとなっている。

●行政サービス・事業について

(1) 住宅購入のきっかけとなりそうな行政サービス・事業

住宅購入のきっかけとなりそうな行政サービス・事業は、「転入に対する税制優遇や補助金」が 43.0%と最も高く、次いで「駅に近く利便性の高い住宅の整備」が 33.8%、「子育て世代への税制優遇や補助金」が 28.1%などとなり、全体的に助成金に対する要望が高くなっている。

(2) これがあるから住んでみたいと思うような行政サービス・事業

これがあるから住んでみたいと思うような行政サービス・事業は、「特になし」が 82.4%と最も高くなったものの、「東京都」の行政サービス・事業を回答した比率が 6.1%、次いで神奈川県（2.9%）などとなっている。

◆調査結果の考察

1. 我孫子市が住宅購入の候補地とならない理由は「イメージがわからないから」

「我孫子市は住宅購入の候補地となるか」をたずねたところ、「思う（思う＋やや思う）」は2割弱にとどまり、「思わない（あまり思わない＋思わない）」は8割強を占めた。

さらに、「我孫子市は住宅購入の候補地となるか」を選んだ理由をたずねたところ、「イメージがわからないから」が4割弱と最も高く、特に東京都、神奈川県、埼玉県で比率が高くなっている。

こうしたことから、まずは我孫子市を知ってもらうために、効果的なPR方法の検討をはじめ、戦略的に市の魅力を市外に売り込んでいくシティセールスにも取り組んでいくことが必要と考えられる。

2. 茨城県は有望市場

茨城県は、常磐線や国道6号による本市とのアクセスが良好なこともあり、我孫子市の認知度や我孫子市への居住意向が他都県に比べて高くなっている。また、我孫子市のイメージに関する設問（「都心に近い」、「交通の便が良い」）においても、1都4県のなかで「思う（思う＋やや思う）」と回答した比率が突出して高くなるなど、茨城県民にとって我孫子市は比較的「便利なまち」であることがうかがえる。

こうしたことから、茨城県（特に南西部）は本市の定住化策を検討するうえでの有望市場と言え、情報発信等に関する施策を検討する際には、茨城県を強く意識することが重要であると考えられる。

3. 我孫子市への居住意向が高い人への切り口

我孫子市への居住意向が高い人について、以下のような傾向がみられた。

- ①親の近くへの居住意向、生まれ育ったまちへの居住意向が高い。
- ②休日の過ごし方では「スポーツ・健康づくり」の比率が高い。
- ③男性の「一人暮らし」、男性の「自分と親」世帯で平均よりも比率が高い。
- ④希望する居住形態では、「注文戸建住宅（新築）」、「分譲戸建住宅（新築）」、「戸建住宅（中古）」など、「戸建住宅」で比率が高い。

こうしたことから、定住化策のターゲットとしては、地縁血縁を重視する人、スポーツや健康づくりに興味がある人、独身男性といった様々な切り口が考えられる。ターゲット層への情報発信にあたっては、対象となる層を絞り込んだうえで各種のマーケティング策を講じていくことが求められる。

4. 住む場所を決める際に重視することは「利便性」に関する項目が上位

「住む場所を選んだ際に重視すること」をたずねたところ、「通勤・通学先との距離」が最も高く、次いで「公共交通の利便性」、第4位に「買い物の便利さ」と利便性に関する項目が上位を占めた。

属性別でみると、男女ともに「通勤・通学先との距離」と「公共交通の利便性」の比率は4割前後を占めているが、「買い物の便利さ」では、女性(40.8%)は男性(28.6%)を10ポイント以上上回っており、女性は日常生活の利便性も重視していることがうかがえる。

こうしたことから、定住化促進策の検討においては、日常生活の利便性向上の観点も欠かせず、商業施設の誘致や買い物環境の充実なども含めて長期的に取り組むことが求められる。

5. 女性は定住したい場所を選ぶ際に「血縁関係を重視」

「定住したい場所を選んだ理由」をみると、男女ともに「その場所をよく知っているから」が最も高いが、女性は「親や子どもが近くにいるから」で男性よりも10ポイント以上上回っており、女性の方が男性よりも血縁関係を重視していることがうかがえる。

こうしたことから、我孫子市が住宅購入の候補地となるためには、男女双方のニーズを満たす必要があり、特に女性に関しては、親子の近居や多世代住居への支援など、血縁関係の結びつきに着目した施策を講じていくことが有効と考えられる。

6. 我孫子市が住宅購入の候補地とならない理由として「液状化」や「放射能」を選んだ人は少数

「我孫子市は住宅購入の候補地となるか」を選んだ理由をたずねたところ、「液状化した場所があるから」と「放射能が心配だから」はともに全体で6%前後(6人)にとどまっている。

しかしながら、少数ではあるものの、液状化や放射能の影響を理由としている人も見られることから、引き続き、そうしたイメージの払拭や正確な情報提供が必要である。

7. 若年世代誘致へのヒント

「住宅購入のきっかけとなりそうな行政サービス・事業」を世帯別にみると、「一人暮らし」世帯では「転入に対する助成」、「夫婦のみ」世帯では「駅に近く利便性の高い住宅の整備」、「夫婦(自分)と子ども」世帯では「子育て世代への補助金」や「高校生までの医療費無料制度」で比率が高くなるなど、ライフステージに応じて「きっかけ」が変化していくことがうかがえる。

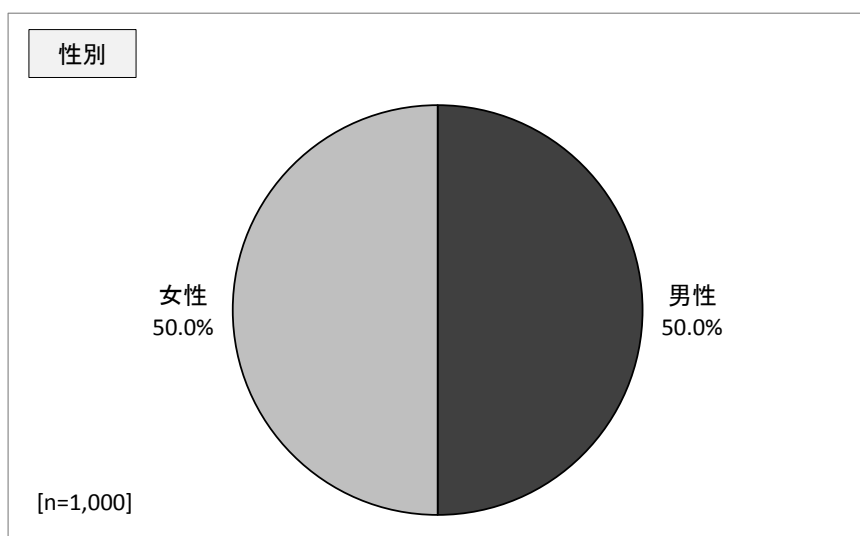
また、「これがあるから住んでみたいと思うような行政サービス・事業」(自由意見)では、「横浜市の待機児童ゼロ」という意見がみられ、横浜市の効果的なPRが要因であると考えられる。

こうしたことから、まずは我孫子市でも実施している「中学3年生までの医療費助成制度」や「待機児童ゼロ」など、既に実施している施策を整理し、効果的なPR策を検討していくことが必要である。そのうえでターゲット層が求める行政サービス・事業におけるマーケティング策を講じていくことが求められる。

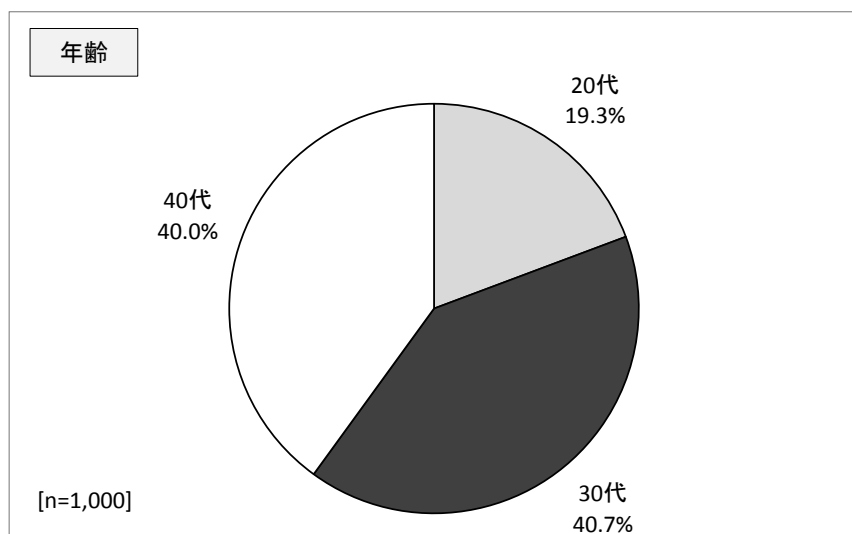
◆ 調査結果

1. 属性

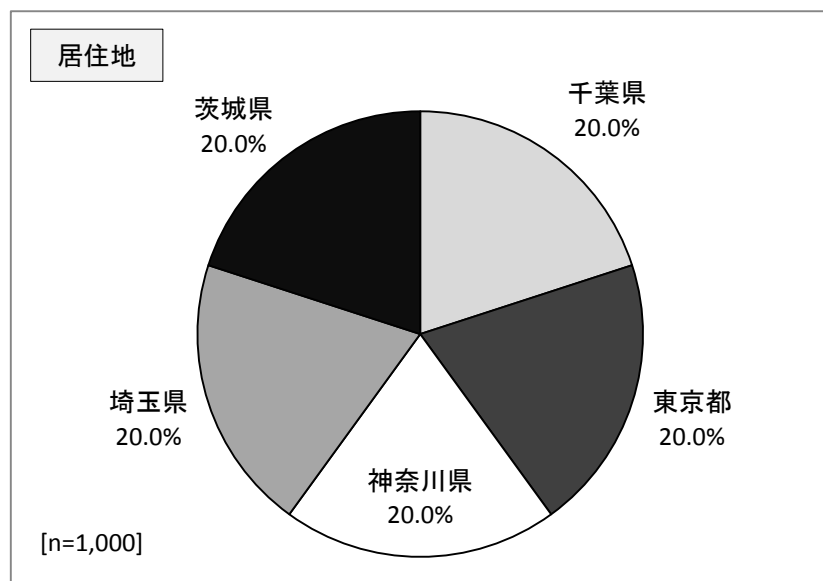
(1) 性別



(2) 年齢



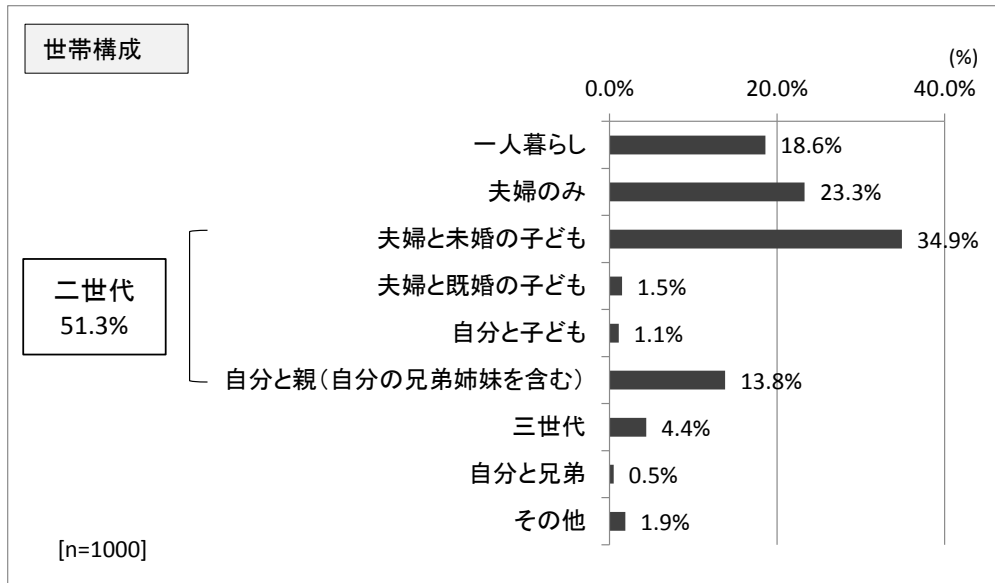
(3) 居住地



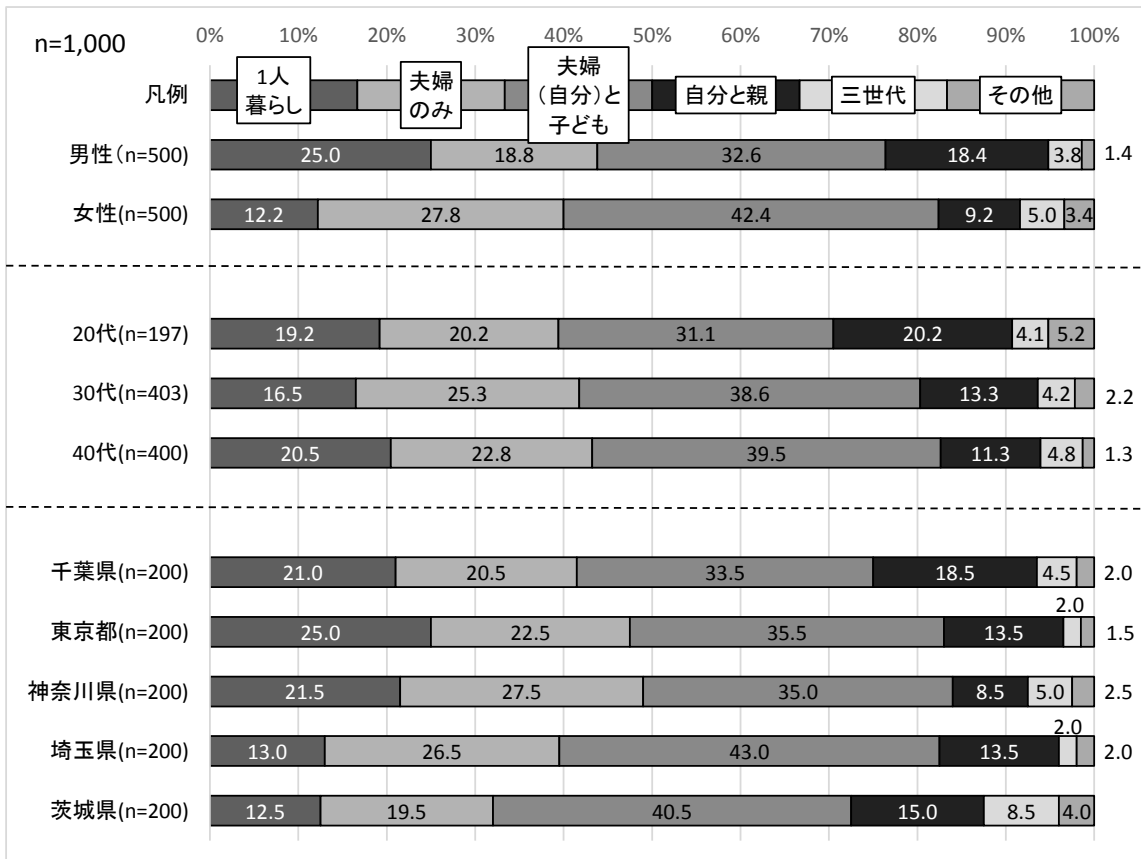
(内訳)

		回答数	比率
千葉県	千葉市	33	3.3%
	市川市	27	2.7%
	船橋市	25	2.5%
	松戸市	19	1.9%
	柏市	16	1.6%
	流山市	10	1.0%
	八千代市	9	0.9%
	浦安市	8	0.8%
	成田市	7	0.7%
	佐倉市	7	0.7%
	市原市	7	0.7%
	習志野市	5	0.5%
	その他	27	2.7%
	小計	200	20.0%
	東京都	23区	157
その他		43	4.3%
小計		200	20.0%
神奈川県	横浜市	94	9.4%
	川崎市	40	4.0%
	その他	66	6.6%
	小計	200	20.0%
埼玉県	さいたま市	41	4.1%
	川口市	21	2.1%
	所沢市	12	1.2%
	川越市	10	1.0%
	その他	116	11.6%
	小計	200	20.0%
茨城県	つくば市	40	4.0%
	水戸市	26	2.6%
	日立市	13	1.3%
	ひたちなか市	11	1.1%
	その他	110	11.0%
	小計	200	20.0%
合計		1000	100.0%

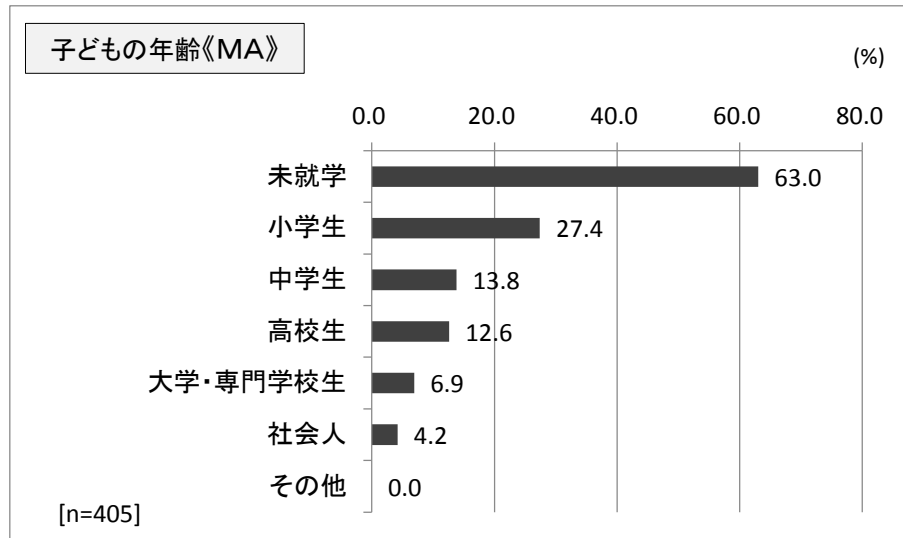
(4) 世帯構成



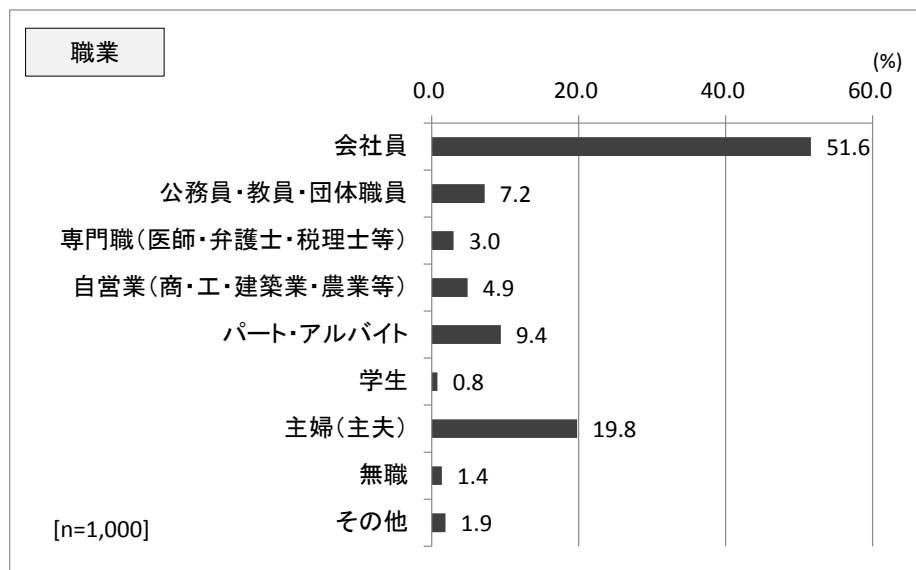
《属性別》



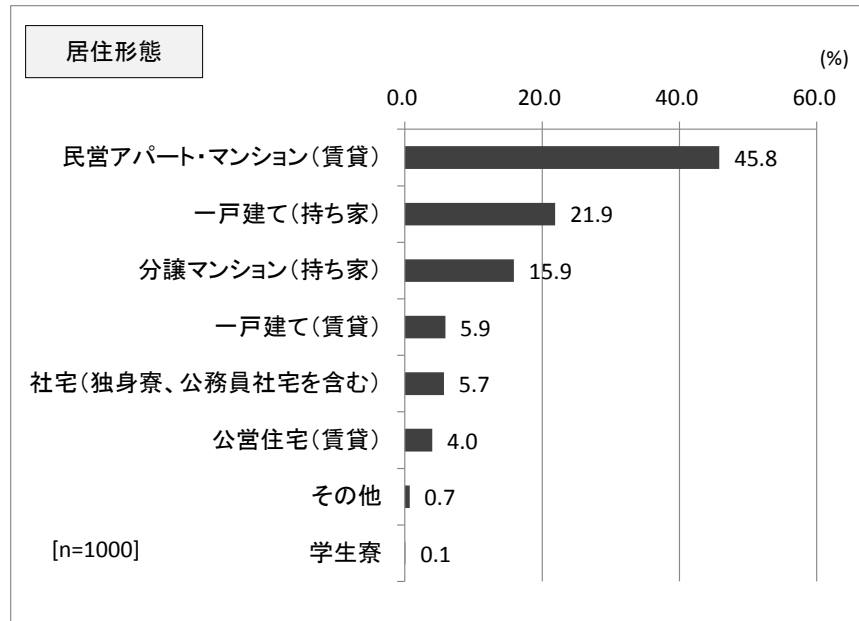
(5) 子どもの年齢



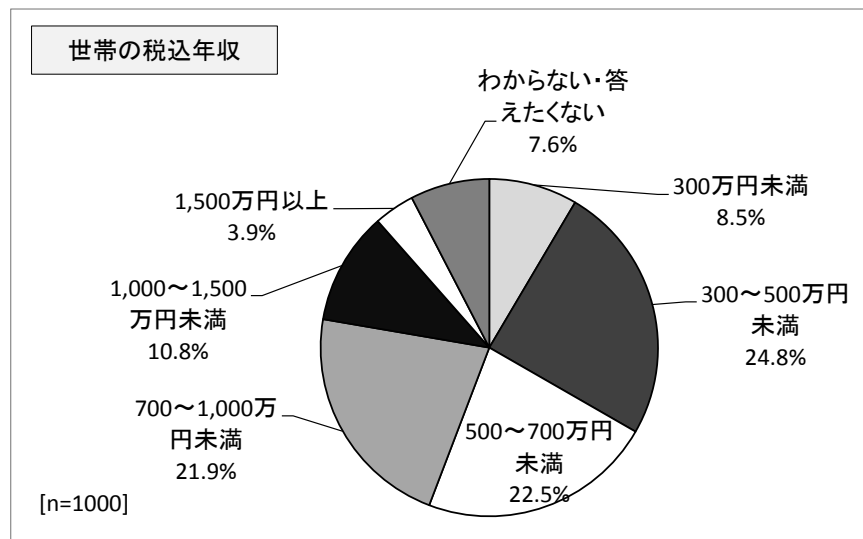
(6) 職業



(7) 居住形態



(8) 世帯の税込年収

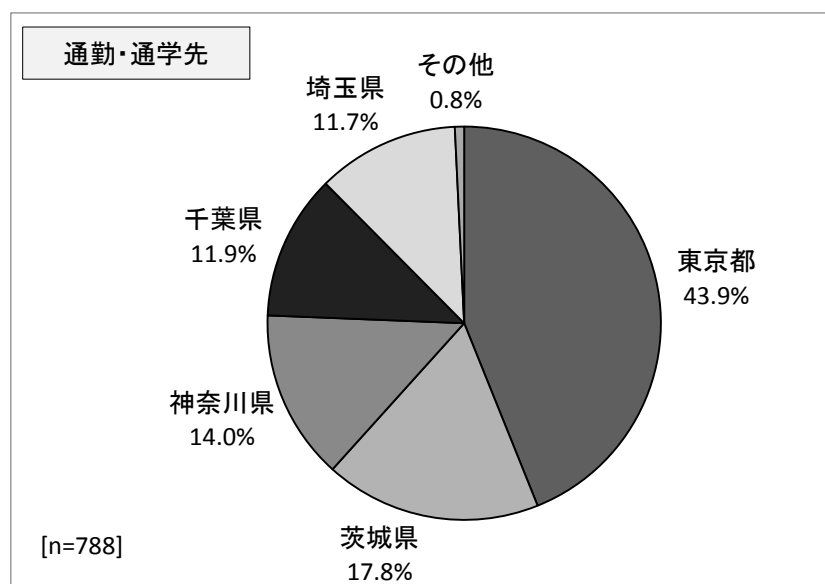


2. 通勤・通学先について

(1) 通勤・通学先

通勤・通学先は、「東京都」が 43.9%と最も高く、以下「茨城県」(17.8%)、「神奈川県」(14.0%)、「千葉県」(11.9%)、「埼玉県」(11.7%) となっている。

図表 1



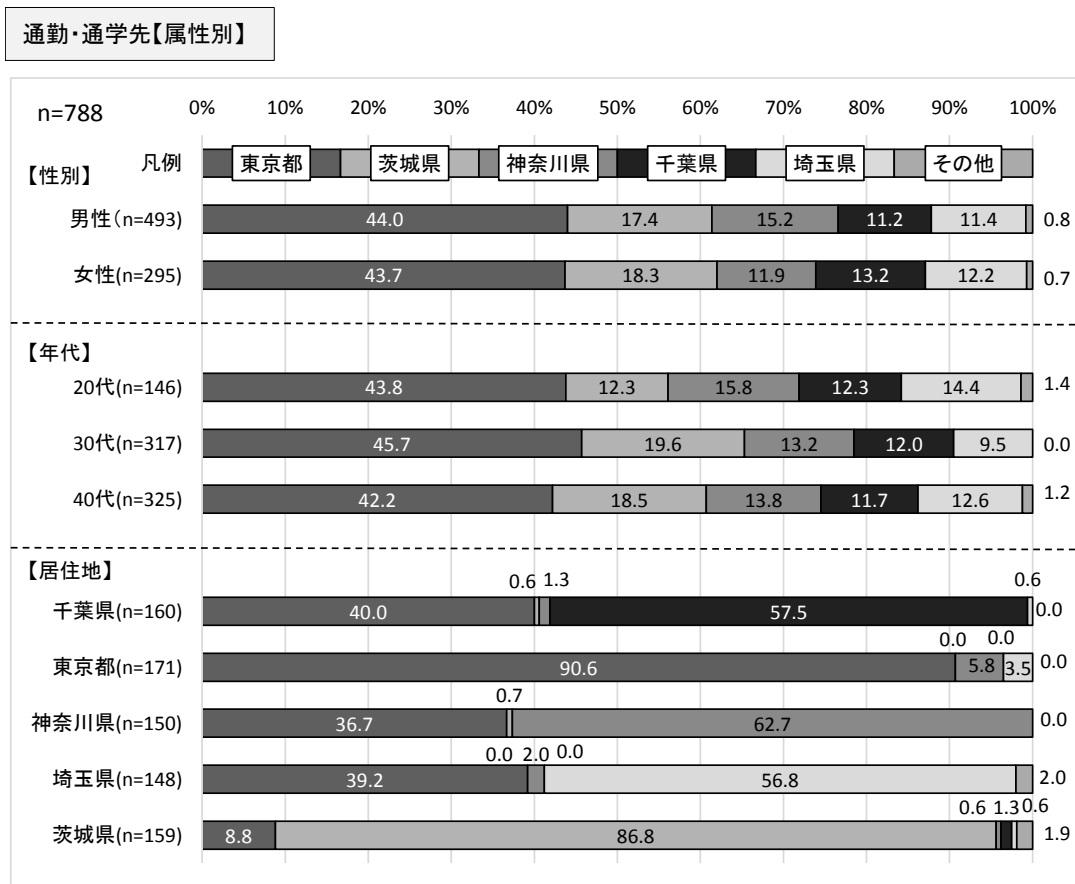
《属性別》

性別で見ると、男女ともに「東京都」の比率が4割強と最も高く、次いで「茨城県」となっている。

年代別にみると、すべての年代で「東京都」の比率が4割強と最も高く、次いで20代では「神奈川県」、30代と40代では「茨城県」となっている。

居住地別にみると、居住地の都県内で通勤・通学している比率が高く、なかでも東京都と茨城県に住んでいる人はその傾向が強く、それぞれ9割強、8割強と突出している。

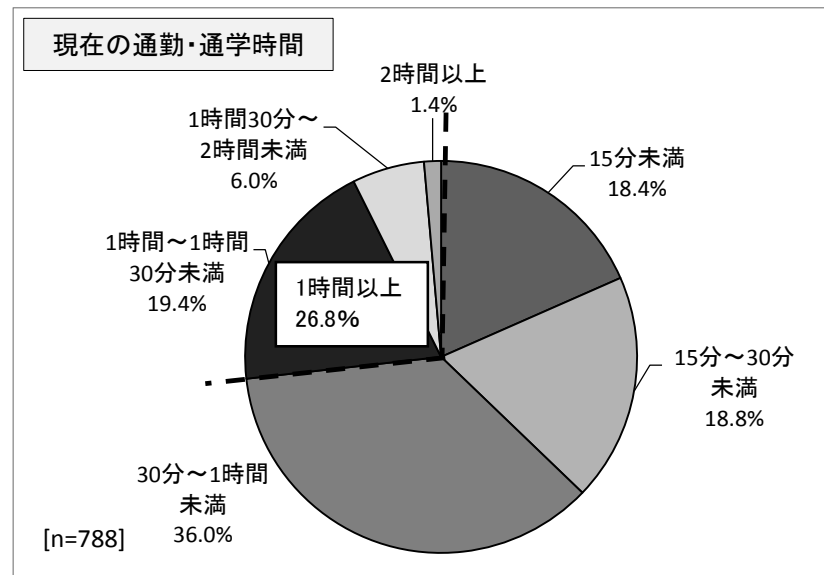
図表 2



(2) 現在の通勤・通学時間

現在の通勤・通学時間は、「30分～1時間未満」が36.0%と最も高く、以下「1時間～1時間30分未満」(19.4%)、「15分～30分未満」(18.8%) などとなっている。1時間以上は、合計で3割弱となった。

図表 3



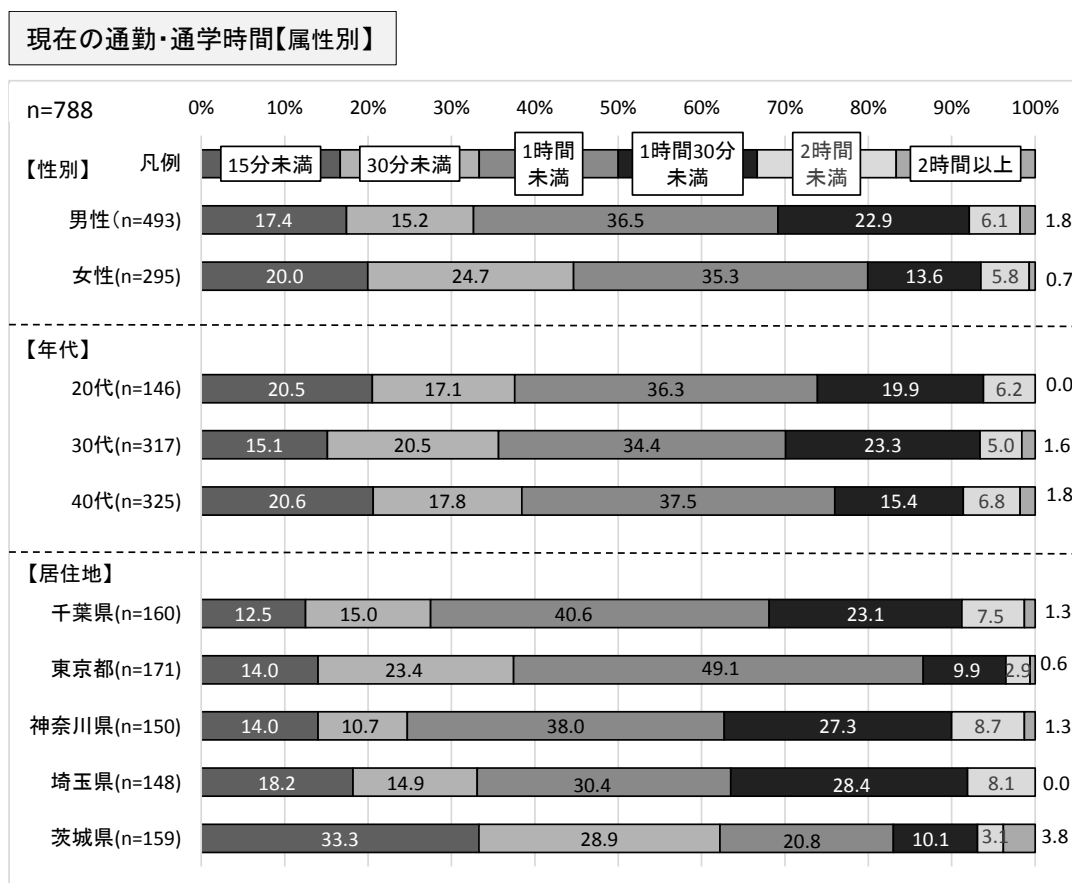
《属性別》

性別でみると、男女ともに「1時間未満」の比率が最も高くなっている。「～30分未満」（15分未満+30分未満）では、女性（44.7%）は男性（32.6%）よりも10ポイント以上高く、男女で差がみられる

年代別にみると、すべての年代で「1時間未満」の比率が最も高くなっている。30代では「1時間30分未満」（23.3%）の比率が他の年代よりも高くなり、比較的通勤・通学時間が長いことがうかがえる。

居住地別にみると、茨城県を除いた都県で「1時間未満」の比率が最も高くなっている。茨城県では「15分未満」が最も高く、「～30分未満」（15分未満+30分未満）で6割を上回り、比較的通勤・通学時間が短いことがうかがえる。「～1時間未満」では、東京都（86.5%）が8割を超えているのに対し、神奈川県（62.7%）、埼玉県（63.5%）では6割強にとどまり、居住地で差がみられる。

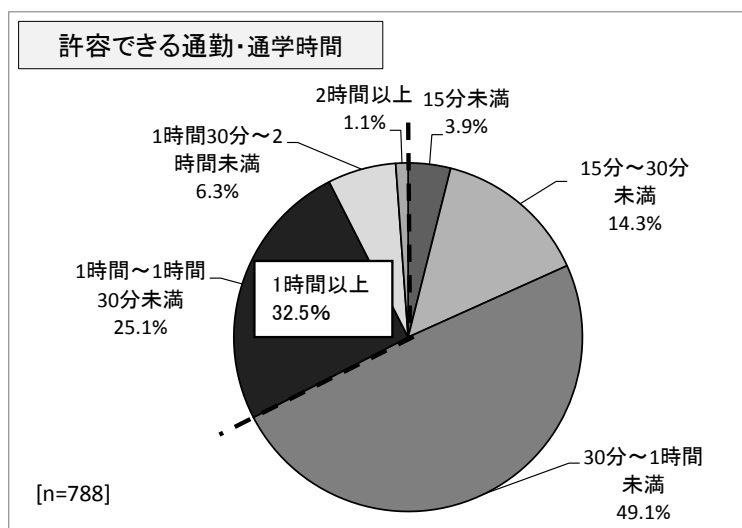
図表 4



(3) 許容できる通勤・通学時間

許容できる通勤・通学時間は、「30分～1時間未満」が49.1%と最も高く、以下「1時間～1時間30分未満」(25.1%)、「15分～30分未満」(14.3%)などとなっている。1時間以上は合計で3割強と、現在の通勤・通学時間(同26.8%)に比べて高くなっており、許容時間が広がっている。

図表 5



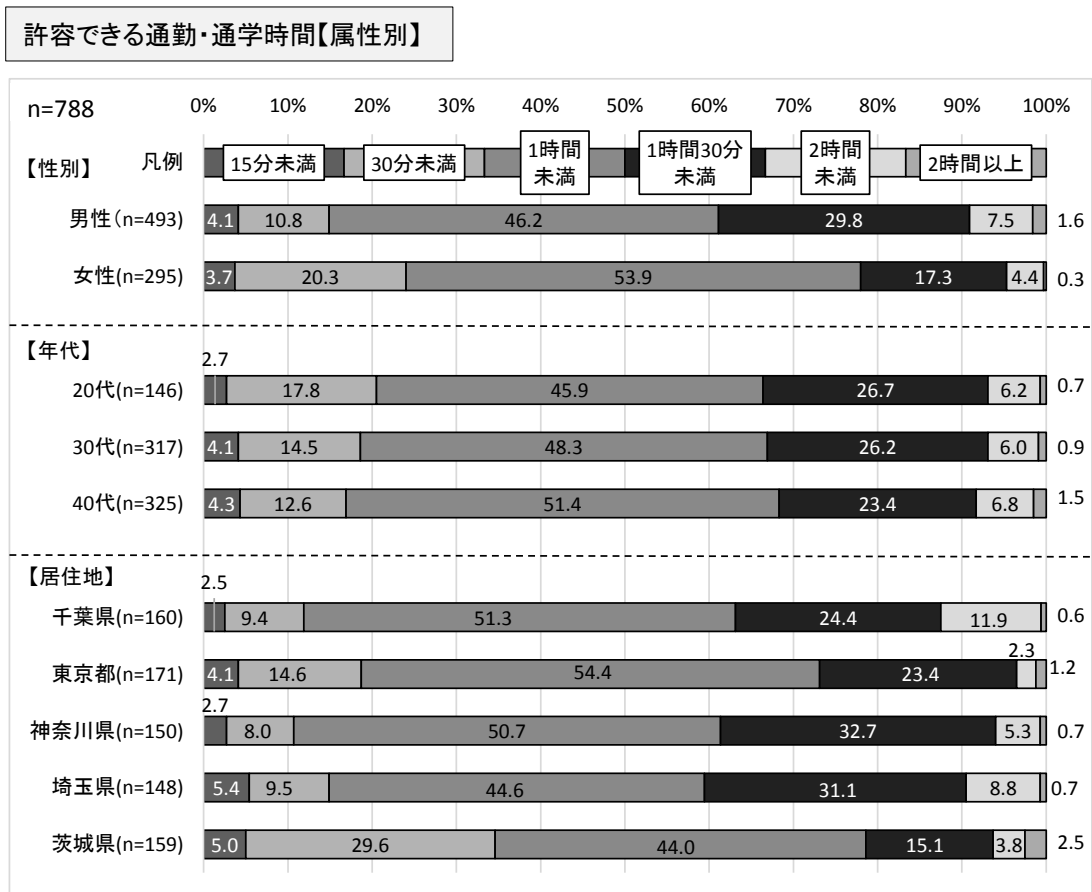
《属性別》

性別で見ると、男女ともに「1時間未満」の比率が最も高くなっている。なかでも女性（53.9%）は現在の通勤・通学時間（同 35.3%）に比べて18.6ポイント高くなっており、許容時間が広がっている。

年代別にみると、すべての年代で、「1時間未満」の比率が最も高くなっている。また、すべての年代で、1時間以上の比率は合計で3割を超えており、現在の通勤・通学時間に比べて許容時間が広がっている。

居住地別にみると、すべての都県で「1時間未満」の比率が最も高くなっている。なかでも茨城県（44.0%）は現在の通勤・通学時間（同 20.8%）に比べて23.2ポイント高くなっており、他の都県と比べて許容時間が広がっている。一方、「30分未満」の比率も茨城県は他の都県と比べて突出している。

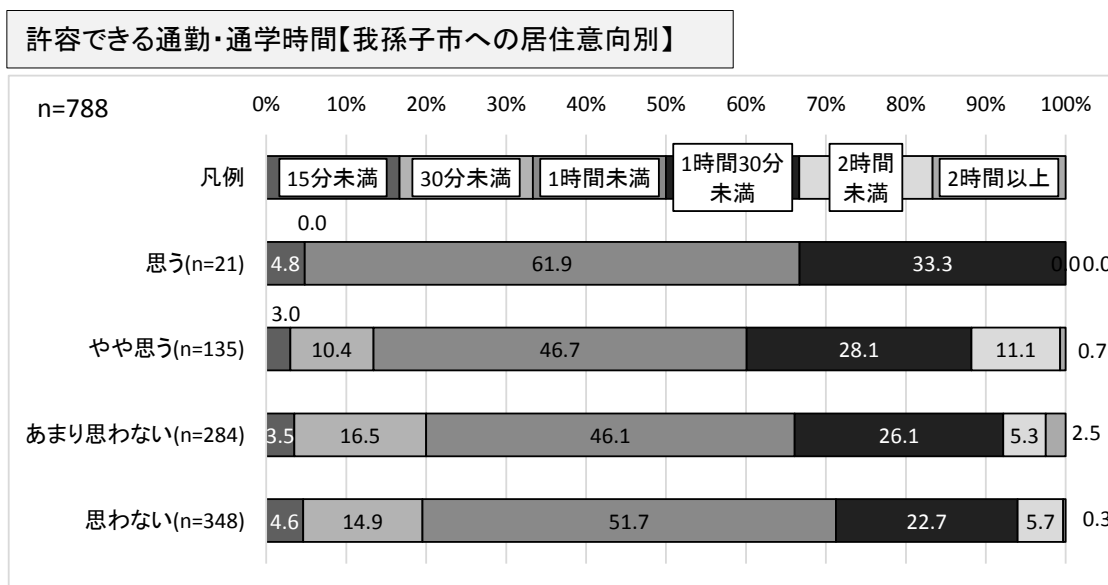
図表 6



《我孫子市への居住意向別》

我孫子市への居住意向（我孫子市は住宅購入の候補地となると思うか）別にみると、「思う（思う+やや思う）」と回答した人は、「思わない（あまり思わない+思わない）」と回答した人に比べて、1 時間以上の比率が高く、比較的許容できる通勤・通学時間が長くなっている。

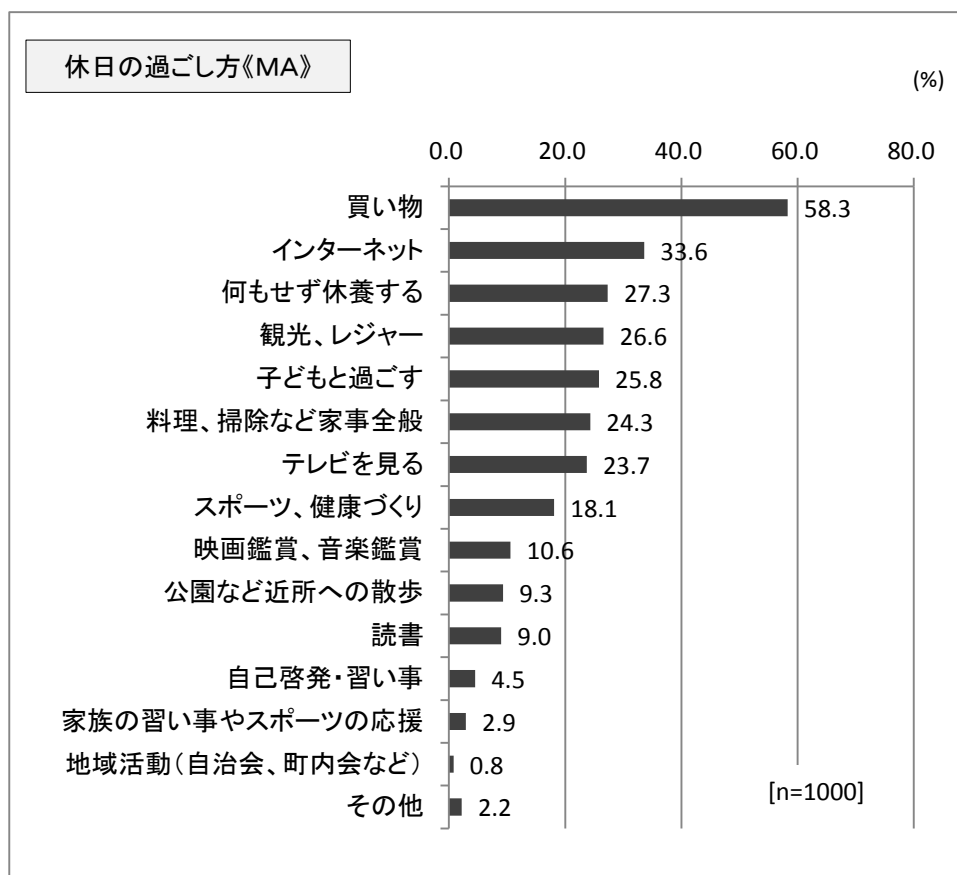
図表 7



3. 休日の過ごし方について

休日の過ごし方は、「買い物」が 58.3%と最も高く、以下「インターネット」(33.6%)、「何もせず休養する」(27.3%)、「観光、レジャー」(26.6%) などとなっている。

図表 8



≪属性別≫

各属性別でみると、「買い物」で比率が高いのは、性別では女性、年代別では 20 代と 30 代、居住地別では茨城県となっている。

「インターネット」で比率が高いのは、性別では男性、年代別では 40 代、居住地別では神奈川県となっている。

「何もせず休養する」で比率が高いのは、性別では男性、年代別では 20 代、居住地別では東京都と神奈川県となっている。

「観光・レジャー」で比率が高いのは、性別では女性、年代別では 20 代と 40 代、居住地別では埼玉県と茨城県となっている。

そのほかに各属性別に傾向がみられるものとして、「子どもと過ごす」、「料理、掃除など家事全般」で比率が高いのは、性別では女性、年代別では 30 代、居住地では茨城県となっている。

図表 9

休日の過ごし方《MA》【属性別】		(%)													
		買い物	インターネット	何もせず休養する	観光、レジャー	子どもと過ごす	料理、掃除など家事全般	テレビを見る	スポーツ、健康づくり	映画鑑賞、音楽鑑賞	公園など近所への散歩	読書	自己啓発・習い事	家族の習い事やスポーツの応援	地域活動（自治会、町内会など）
全体(n=1000)		58.3	33.6	27.3	26.6	25.8	24.3	23.7	18.1	10.6	9.3	9.0	4.5	2.9	0.8
性	男性(n=500)	49.4	41.6	30.6	26.0	21.8	10.6	27.4	26.0	11.2	7.2	10.8	4.8	2.0	1.2
	女性(n=500)	67.2	25.6	24.0	27.2	29.8	38.0	20.0	10.2	10.0	11.4	7.2	4.2	3.8	0.4
年代	20代(n=197)	60.1	30.1	33.2	29.0	25.9	17.1	19.7	18.7	7.8	9.8	9.3	2.1	2.1	0.0
	30代(n=403)	61.9	29.0	28.7	23.6	31.4	27.3	21.4	19.9	9.6	10.6	7.4	4.4	2.2	0.5
	40代(n=400)	53.8	40.0	23.0	28.5	20.0	24.8	28.0	16.0	13.0	7.8	10.5	5.8	4.0	1.5
居住地	千葉県(n=200)	58.0	32.5	27.5	26.0	23.5	24.0	29.5	18.0	11.5	6.0	9.0	4.5	3.5	1.0
	東京都(n=200)	46.5	34.5	32.5	27.0	19.5	30.0	17.5	19.0	13.0	10.5	13.0	4.5	2.5	0.0
	神奈川県(n=200)	60.0	35.5	32.5	21.0	26.5	23.0	27.0	17.0	13.5	9.5	6.0	6.5	1.5	0.5
	埼玉県(n=200)	61.0	34.0	23.0	29.0	26.5	18.0	22.0	17.5	9.0	13.0	8.0	3.0	3.5	1.0
	茨城県(n=200)	66.0	31.5	21.0	30.0	33.0	26.5	22.5	19.0	6.0	7.5	9.0	4.0	3.5	1.5

(注)シャドー部分：全体平均より高いもの

《我孫子市への居留意向別》

我孫子市への居留意向（我孫子市は住宅購入の候補地となると思うか）別にみると、「思う（思う+やや思う）」と回答した人は、休日の過ごし方として「スポーツ、健康づくり」と回答した比率が高くなっている。

一方、「思わない（あまり思わない+思わない）」と回答した人は、休日の過ごし方として「買い物」と回答した比率が高くなっている。

図表 10

休日の過ごし方《MA》【我孫子市への居留意向別】		(%)													
		買い物	インターネット	何もせず休養する	観光、レジャー	子どもと過ごす	料理、掃除など家事全般	テレビを見る	スポーツ、健康づくり	映画鑑賞、音楽鑑賞	公園など近所への散歩	読書	自己啓発・習い事	家族の習い事やスポーツの応援	地域活動（自治会、町内会など）
全体(n=1000)		58.3	33.6	27.3	26.6	25.8	24.3	23.7	18.1	10.6	9.3	9.0	4.5	2.9	0.8
居留意向（我孫子市は住宅購入の候補地となると思うか）別	思う(n=26)	46.2	42.3	30.8	15.4	19.2	23.1	19.2	30.8	7.7	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8
	やや思う(n=159)	53.5	31.4	25.8	28.9	22.6	17.0	20.1	25.8	10.7	4.4	13.2	6.3	6.9	2.5
	あまり思わない(n=347)	60.2	32.3	29.1	28.5	23.3	24.5	26.5	17.3	11.5	6.6	8.6	4.3	3.2	0.9
	思わない(n=468)	59.2	34.8	26.3	25.0	29.1	26.7	23.1	15.4	10.0	13.5	8.1	4.1	1.3	0.0

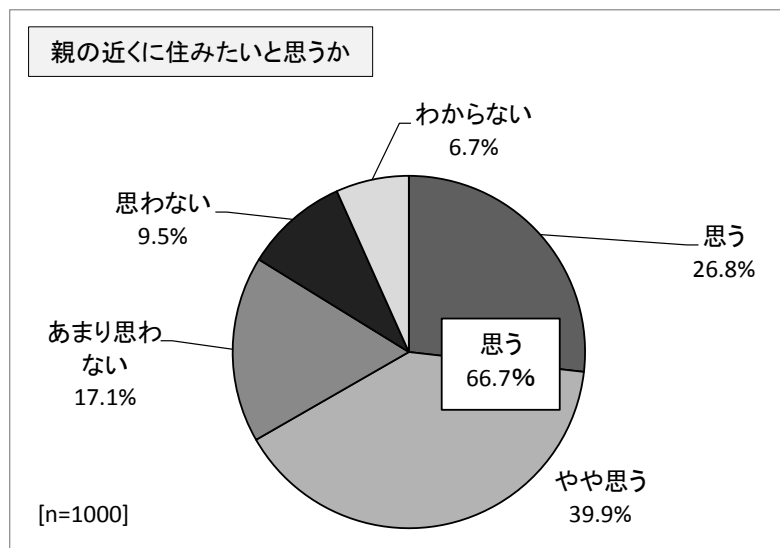
(注)シャドー部分：全体平均より高いもの

4. 定住について

(1) 親の近くへの居留意向

「将来、親の近くに住みたいと思うか」をたずねたところ、「思う（思う+やや思う）」が66.7%、「思わない（あまり思わない+思わない）」が26.6%となった。

図表 11



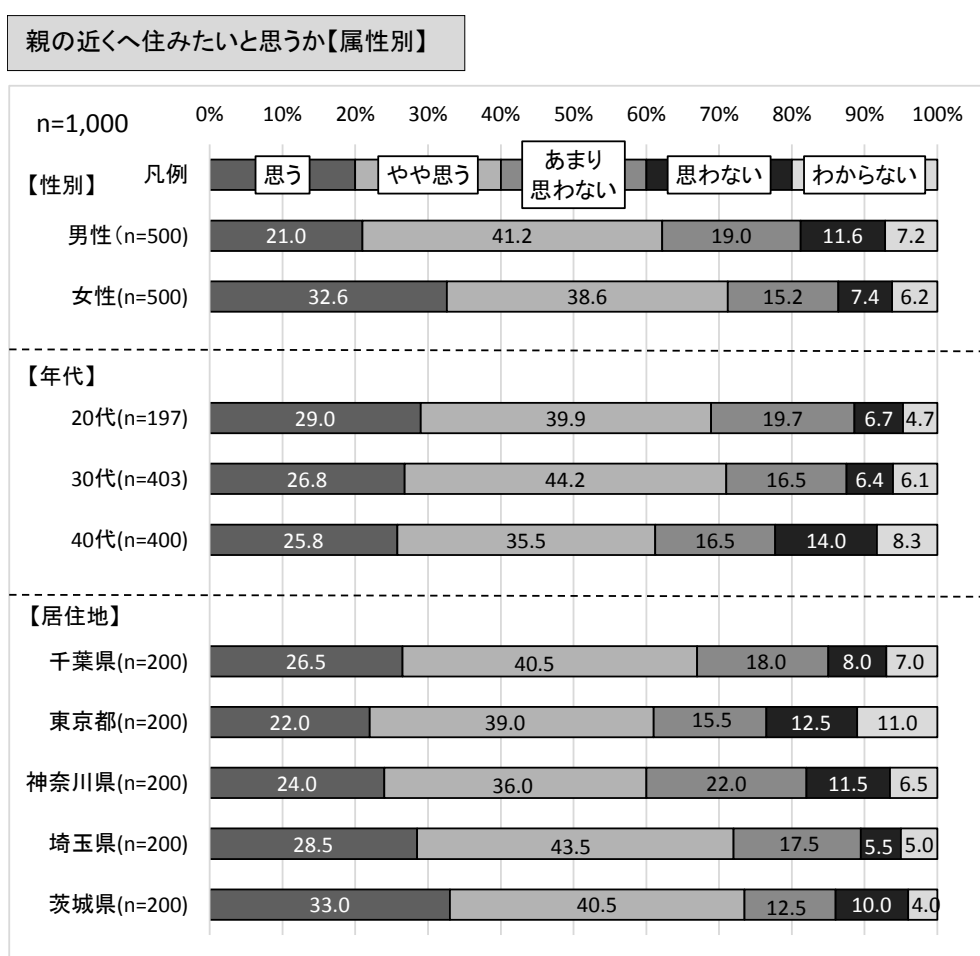
《属性別》

性別でみると、「思う（思う＋やや思う）」の比率は、女性（71.2%）が男性（62.2%）よりも9ポイント高く、なかでも「思う」は女性（32.6%）が男性（21.0%）よりも11.6ポイント高い。

年代別では、「思う（思う＋やや思う）」の比率は、20代（68.9%）と30代（71.0%）では7割前後となったが、40代（61.3%）では6割強にとどまった。

居住地別では、「思う（思う＋やや思う）」の比率は、茨城県（73.5%）、埼玉県（72.0%）、千葉県（67.0%）で7割前後となったが、東京都（61.0%）と神奈川県（60.0%）では約6割にとどまった。

図表 12

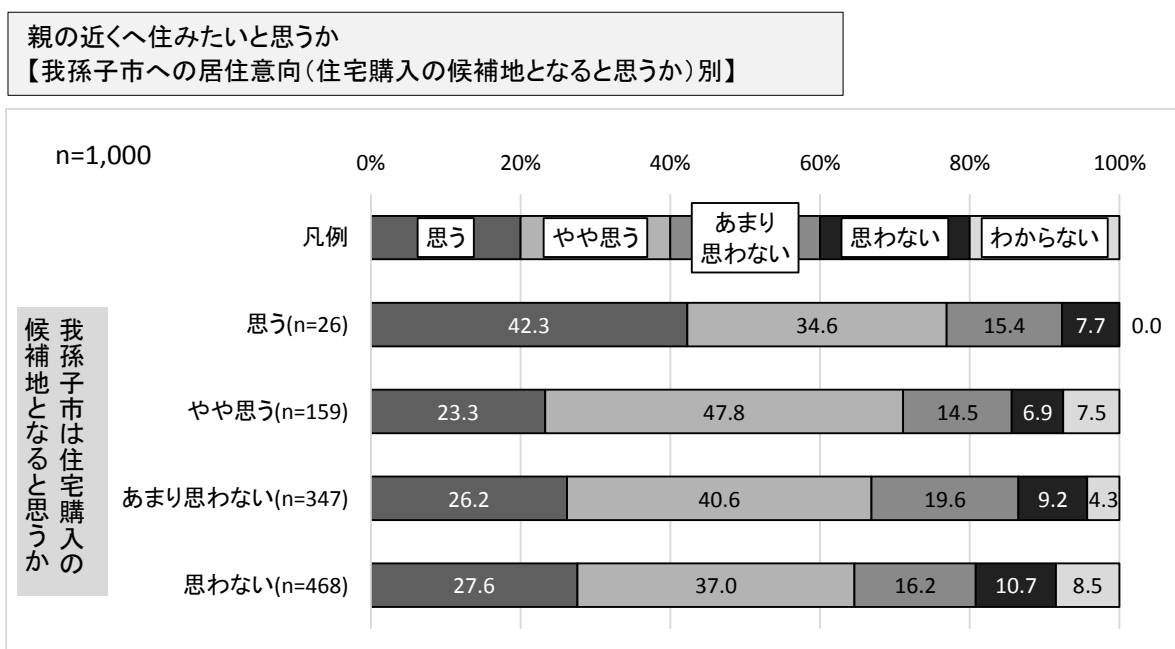


《我孫子市への居留意向別》

我孫子市への居留意向（我孫子市は住宅購入の候補地となると思うか）別にみると、我孫子市は住宅購入の候補地となると「思う（思う+やや思う）」と回答した人は、親の近くへ住みたいと「思う（思う+やや思う）」と回答した比率は高くなっている。

なかでも、我孫子市は住宅購入の候補地となると「思う」と回答した人が、親の近くへ住みたいと「思う」と回答した比率は、42.3%と4割強を占めている。

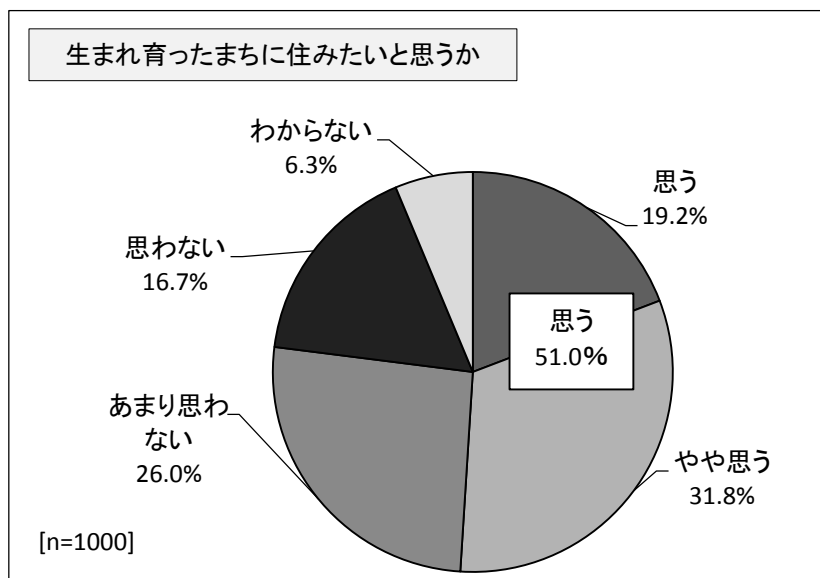
図表 13



(2) 生まれ育ったまちへの居留意向

「生まれ育ったまちに住みたいと思うか」をたずねたところ、「思う（思う＋やや思う）」が51.0%、「思わない（あまり思わない＋思わない）」が42.7%となった。

図表 14



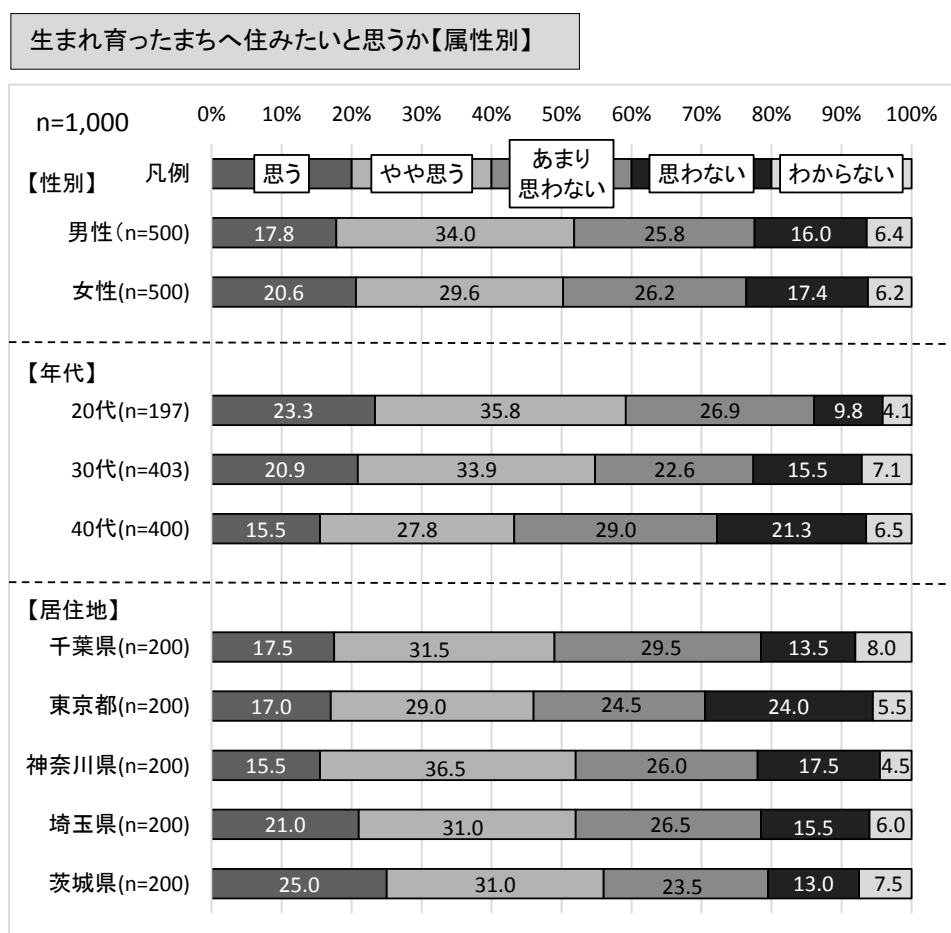
《属性別》

性別でみると、「思う（思う＋やや思う）」の比率は、男性（51.8%）が女性（50.2%）よりもやや高くなった。

年代別では、「思う（思う＋やや思う）」の比率は、20代（59.1%）が最も高く、30代（54.8%）、40代（43.3%）と年代が上がるにつれて低くなる傾向がみられた。

居住地別では、「思う（思う＋やや思う）」の比率は、すべての都県で半数前後となった。なかでも、茨城県では「思う」（25.0%）の比率が他都県と比べて、東京都では「思わない」（24.0%）の比率が他県と比べて高くなった。

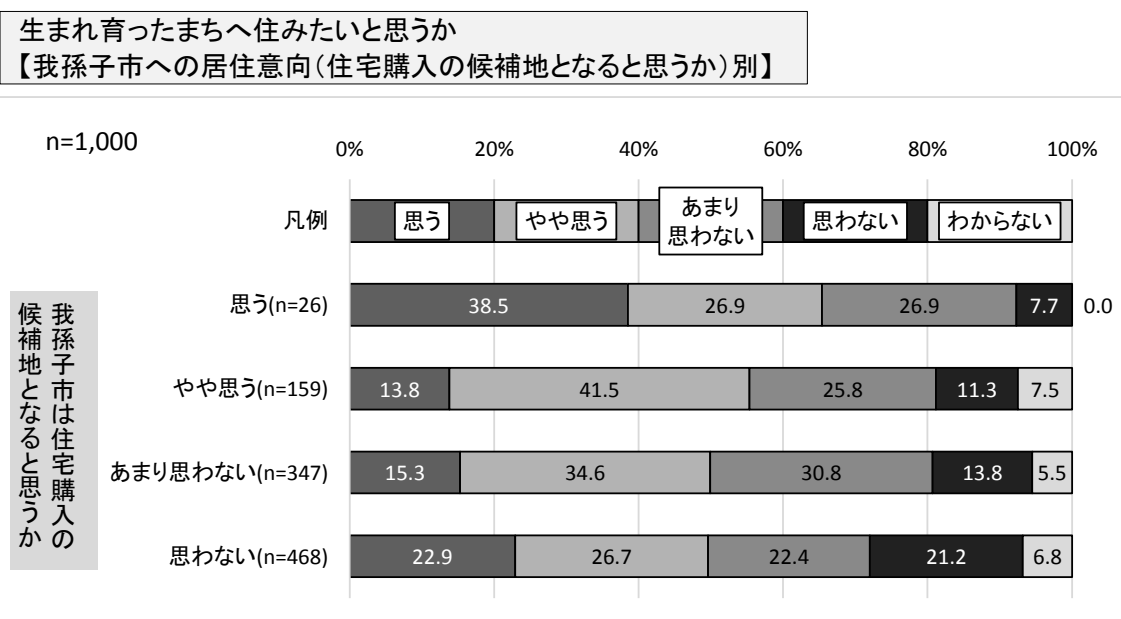
図表 15



《我孫子市への居留意向別》

我孫子市への居留意向（我孫子市は住宅購入の候補地となると思うか）別にみると、我孫子市は住宅購入の候補地となると「思う（思う+やや思う）」と回答した人は、生まれ育ったまちへ住みたいと「思う（思う+やや思う）」と回答した比率が高くなっている。

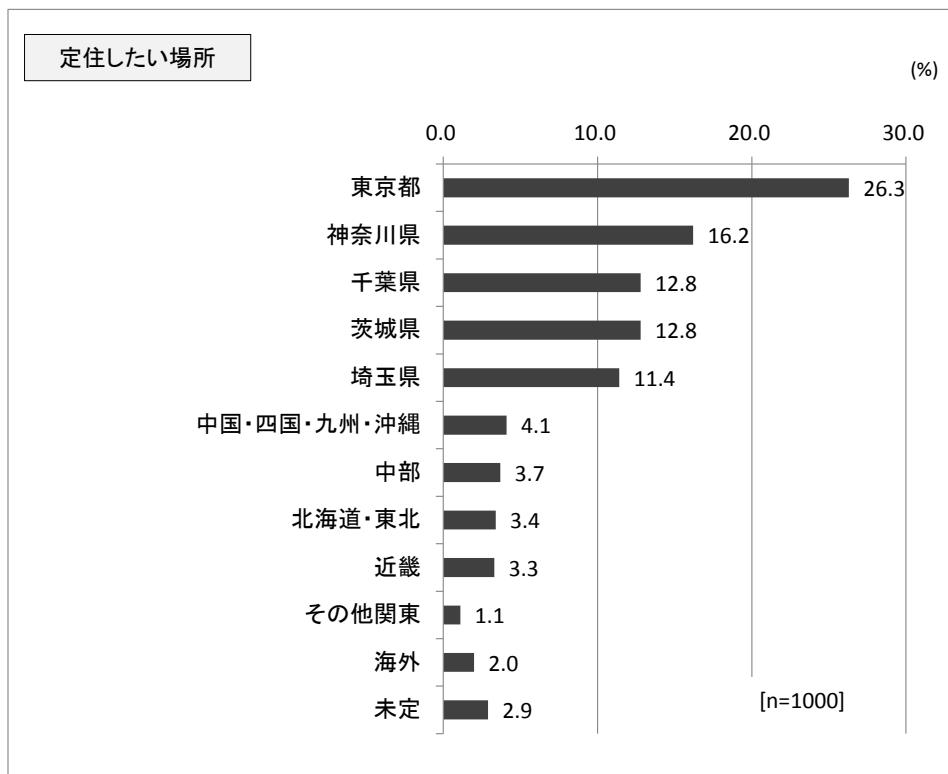
図表 16



(3) 定住したい場所

定住したい場所は、「東京都」が 26.3%と最も高く、以下「神奈川県」(16.2%)、「千葉県」「茨城県」(12.8%) などとなっている。

図表 17



《属性別》

性別でみると、男女ともに「東京都」の比率が最も高く、次いで「神奈川県」となった。

年代別にみると、すべての年代で「東京都」の比率が最も高く、次いで20代では「千葉県」、30代と40代では「神奈川県」の比率が高くなった。

居住地別にみると、現在居住している場所への定住意向が高い傾向がみられた。現在居住している場所への定住意向では、「東京都」(69.5%)と「神奈川県」(62.5%)、「茨城県」(60.5%)が6割強を占めているが、「千葉県」(55.0%)と「埼玉県」(52.0%)では半数程度にとどまった。

図表 18

定住したい場所【属性別】		東京都	神奈川県	千葉県	茨城県	埼玉県	中国・四国・九州・沖縄	中部	北海道・東北	近畿	その他関東	海外	未定
全体(n=1000)		26.3	16.2	12.9	12.8	11.3	4.1	3.7	3.4	3.3	1.1	2.0	2.9
性	男性(n=500)	25.6	17.0	11.6	13.4	10.6	4.4	4.0	4.2	4.4	0.4	1.4	3.0
	女性(n=500)	27.0	15.4	14.2	12.2	12.0	3.8	3.4	2.6	2.2	1.8	2.6	2.8
年代	20代(n=197)	28.5	13.5	14.0	11.9	13.5	2.6	2.1	4.1	4.1	1.6	2.1	2.1
	30代(n=403)	21.9	18.4	14.0	14.0	11.5	4.9	3.9	2.5	2.7	1.2	1.5	3.4
	40代(n=400)	29.8	15.3	11.3	12.0	10.0	4.0	4.3	4.0	3.5	0.8	2.5	2.8
居住地	千葉県(n=200)	16.5	3.0	55.0	1.5	1.0	4.5	2.0	4.0	5.5	0.5	2.5	4.0
	東京都(n=200)	69.5	7.0	1.5	0.5	1.0	4.5	4.0	4.0	2.5	0.0	3.0	2.5
	神奈川県(n=200)	13.5	62.5	2.0	1.0	0.0	4.5	3.5	4.0	3.5	0.0	1.5	4.0
	埼玉県(n=200)	20.5	5.0	3.0	0.5	52.0	3.0	4.5	2.0	3.5	2.5	1.5	2.0
	茨城県(n=200)	11.5	3.5	3.0	60.5	2.5	4.0	4.5	3.0	1.5	2.5	1.5	2.0

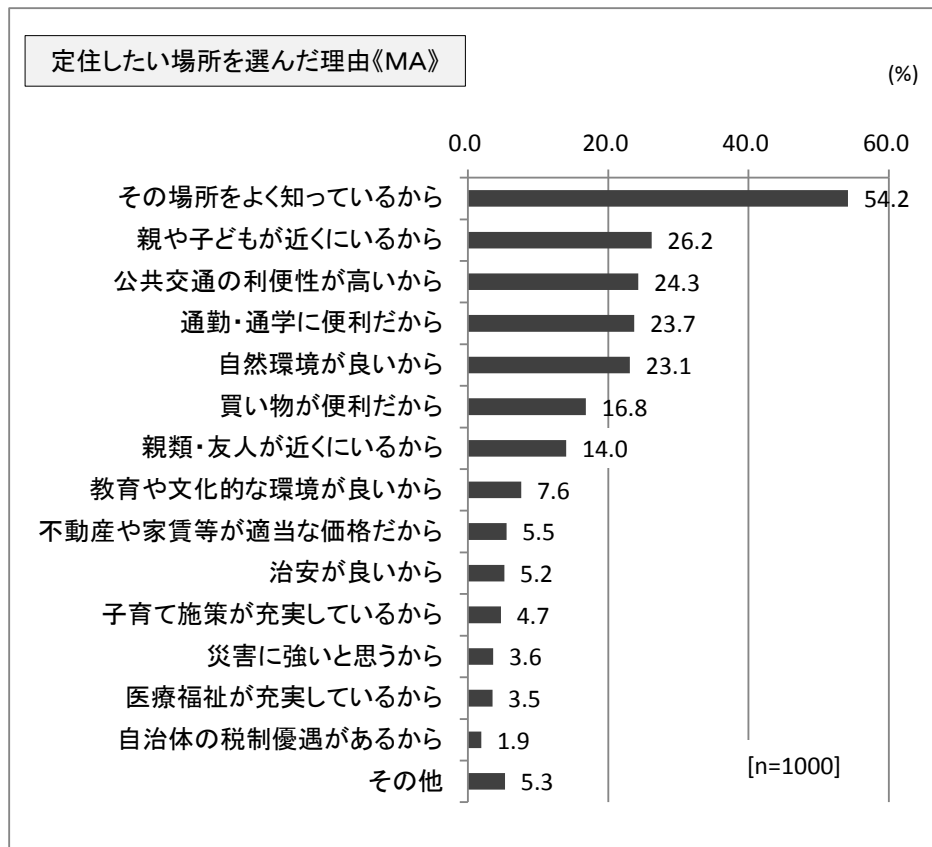
(注)シャドー部分:全体平均より高いもの

(4) 定住したい場所を選んだ理由

定住したい場所を選んだ理由をみると、「その場所をよく知っているから」が54.2%と最も高く、以下「親や子どもが近くにいるから」(26.2%)、「公共交通の利便性が高いから」(24.3%) などとなっている。

一方、「子育て施策が充実しているから」、「災害に強いと思うから」、「医療福祉が充実しているから」、「自治体の税制優遇があるから」などは低くなっている。

図表 19



《属性別》

各属性別でみると、「その場所をよく知っているから」の比率が高いのは、性別では男性、年代別では20代と30代、居住地別では東京都と神奈川県となっている。

「親や子どもが近くにいるから」の比率が高いのは、性別では女性、年代別では20代と30代、居住地別では千葉県と茨城県となっている。

「公共交通の利便性が高いから」の比率が高いのは、性別では女性、年代別では30代、居住地別では東京都と埼玉県となっている。

「通勤・通学に便利だから」の比率が高いのは、性別では男性、年代別では30代、居住地別では埼玉県と東京都となっている。

属性別に傾向がみられるものとして、年代別では「自然環境が良いから」が40代、「買い物が便利だから」が20代で他の年代に比べて比率が高くなっている。

図表 20

定住したい場所を選んだ理由《MA》【属性別】																(%)
		からその場所をよく知っている	ら親や子どもが近くにいるか	ら公共交通の利便性が高いか	通勤・通学に便利だから	自然環境が良いから	買い物が便利だから	ら親類・友人が近くにいるか	から教育や文化的な環境が良い	格だから不動産や家賃等が適当な価	治安が良いから	から子育て施策が充実している	災害に強いと思うから	ら医療福祉が充実しているか	ら自治体の税制優遇があるか	
全体(n=1000)		54.2	26.2	24.3	23.7	23.1	16.8	14.0	7.6	5.5	5.2	4.7	3.6	3.5	1.9	
性	男性(n=500)	56.0	20.6	23.8	24.6	24.6	16.2	11.4	8.0	6.0	3.8	2.8	4.6	3.0	1.8	
	女性(n=500)	52.4	31.8	24.8	22.8	21.6	17.4	16.6	7.2	5.0	6.6	6.6	2.6	4.0	2.0	
年代	20代(n=197)	58.5	27.5	23.8	22.3	15.0	20.2	16.6	7.8	5.2	9.3	6.7	2.6	1.6	2.1	
	30代(n=403)	54.5	29.2	26.8	24.6	20.4	15.2	16.2	5.7	5.9	2.9	5.7	2.9	3.7	2.5	
	40代(n=400)	51.8	22.5	22.0	23.5	29.8	16.8	10.5	9.5	5.3	5.5	2.8	4.8	4.3	1.3	
居住地	千葉県(n=200)	53.5	31.0	22.0	24.5	24.0	18.5	13.0	4.0	9.5	4.5	3.5	3.5	2.0	2.0	
	東京都(n=200)	57.5	20.5	27.5	25.5	23.0	19.0	11.5	10.0	6.5	5.5	5.0	3.5	2.5	2.5	
	神奈川県(n=200)	56.5	22.0	23.5	19.0	26.0	15.0	12.5	8.0	4.5	7.5	3.5	1.0	3.5	1.5	
	埼玉県(n=200)	51.5	26.0	27.0	27.0	20.5	16.0	15.0	7.0	3.0	3.0	6.0	5.0	3.5	2.0	
	茨城県(n=200)	52.0	31.5	21.5	22.5	22.0	15.5	18.0	9.0	4.0	5.5	5.5	5.0	6.0	1.5	

(注)シャドー部分:全体平均より高いもの

《世帯別》

定住したい場所を選んだ理由の上位7項目について世帯別にみると、「その場所をよく知っているから」の比率が高いのは、「自分と親」、「夫婦（自分）と子ども（未婚・既婚含む）」の二世帯の世帯となっている。

「親や子どもが近くにいるから」で比率が高いのは、「三世帯」、「夫婦のみ」、「夫婦（自分）と子ども（未婚・既婚含む）」となっている。

「公共交通の利便性が高いから」、「通勤・通学に便利だから」は世帯別で大きな差はみられない。

図表 21

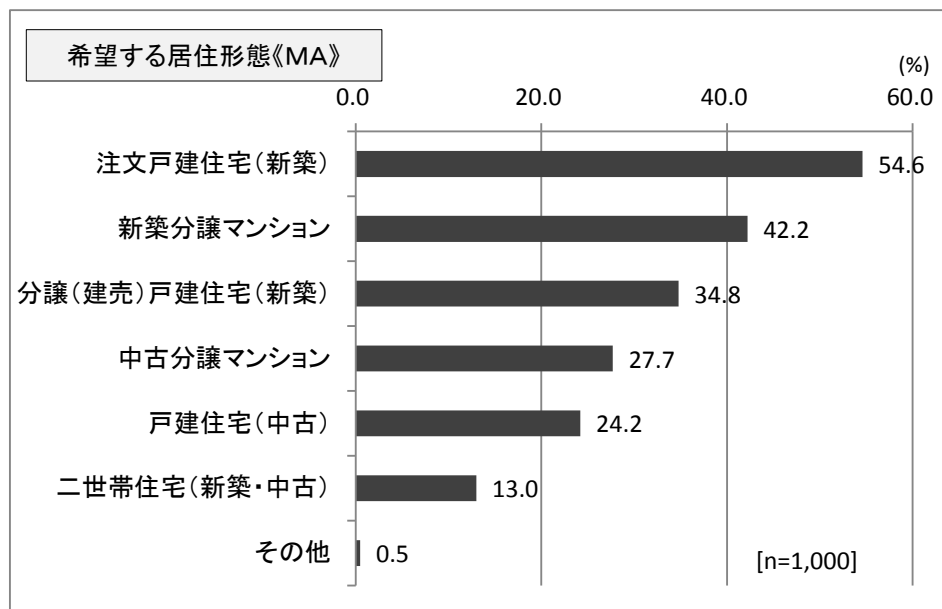
定住したい場所を選んだ理由の上位7項目《MA》【世帯別】		か そ の 場 所 を よ く 知 っ て い る	ら 親 や 子 ど も が 近 く に い る か	ら 公 共 交 通 の 利 便 性 が 高 い か	通 勤 ・ 通 学 に 便 利 だ か ら	自 然 環 境 が 良 い か ら	買 い 物 が 便 利 だ か ら	ら 親 類 ・ 友 人 が 近 く に い る か
全体(n=1000)		54.2	26.2	24.3	23.7	23.1	16.8	14.0
世帯別 (その他除く)	一人暮らし(n=186)	50.5	15.1	25.3	21.0	27.4	17.7	11.3
	夫婦のみ(n=233)	52.8	30.0	24.5	24.5	23.6	13.7	15.0
	夫婦(自分)と子ども (未婚・既婚含む)(n=375)	56.0	29.6	22.7	23.5	22.4	14.4	17.9
	自分と親(n=138)	58.0	20.3	26.1	25.4	17.4	23.9	8.0
	三世帯(n=44)	50.0	40.9	25.0	34.1	27.3	20.5	4.5

(注)シャドー部分:全体平均より高いもの

(5) 希望する居住形態について

希望する居住形態は、「注文戸建住宅（新築）」が 54.6%と最も高く、以下「新築分譲マンション」（42.2%）、「分譲（建売）戸建住宅（新築）」（34.8%）などとなっている。

図表 22



《属性別》

性別でみると、男女ともに「注文戸建住宅（新築）」と回答した比率が最も高く、なかでも男性は「戸建住宅」に関する比率が高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「注文戸建住宅（新築）」が最も高く、20代と30代では6割弱を占めている。20代と30代では「新築」物件に関する比率が高く、40代では「中古」物件に関する比率が他の年代と比べて高くなっている。

居住地別では、東京都を除いたすべての県で「注文戸建住宅（新築）」と回答した比率が最も高く、特に茨城県（72.5%）は突出しており、7割強を占めている。東京都では、「新築分譲マンション」（56.0%）や「中古分譲マンション」（41.5%）と回答した比率が高くなっている。

図表 23

希望する居住形態《MA》【属性別】		(%)					
		注文戸建住宅（新築）	新築分譲マンション	分譲戸建住宅（新築）	中古分譲マンション	戸建住宅（中古）	二世帯住宅（新築・中古）
全体(n=1000)		54.6	42.2	34.8	27.7	24.2	13.0
性	男性(n=500)	57.2	40.4	35.2	26.2	26.2	14.4
	女性(n=500)	52.0	44.0	34.4	29.2	22.2	11.6
年代	20代(n=197)	57.5	45.6	43.5	23.8	22.8	13.0
	30代(n=403)	59.2	40.3	35.4	23.6	22.6	14.5
	40代(n=400)	48.5	42.5	30.0	33.8	26.5	11.5
居住地	千葉県(n=200)	50.0	44.5	31.0	27.0	26.5	13.5
	東京都(n=200)	44.5	56.0	38.0	41.5	26.5	11.0
	神奈川県(n=200)	50.5	45.5	40.0	29.0	23.5	13.5
	埼玉県(n=200)	55.5	38.5	38.5	24.0	19.5	14.0
	茨城県(n=200)	72.5	26.5	26.5	17.0	25.0	13.0

(注)シャドー部分：全体平均より高いもの

《我孫子市への居留意向別》

我孫子市への居留意向（我孫子市は住宅購入の候補地となると思うか）別にみると、我孫子市は住宅購入の候補地となると「思う（思う+やや思う）」と回答した人は、「注文戸建住宅（新築）」や「分譲戸建住宅（新築）」、「戸建住宅（中古）」などの「戸建住宅」で比率が高くなっている。

一方、我孫子市は住宅購入の候補地となると「あまり思わない」と回答した人は「新築分譲マンション」や「中古分譲マンション」で比率が高くなっている。

図表 24

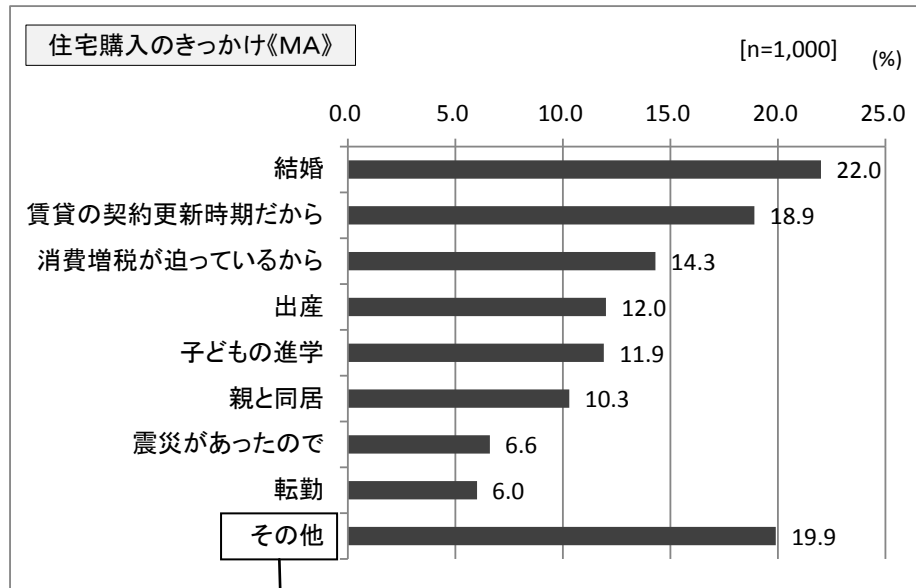
希望する居住形態《MA》【我孫子市への居留意向別】		(%)					
		注文戸建住宅 (新築)	分譲戸建住宅 (新築)	戸建住宅 (中古)	二世帯住宅 (新築・中古)	新築分譲 マンション	中古分譲 マンション
全体(n=1000)		54.6	34.8	24.2	13.0	42.2	27.7
居住意向の候補地となは ると思うか)別	思う(n=26)	69.2	38.5	42.3	15.4	34.6	19.2
	やや思う(n=159)	55.3	37.7	25.2	20.1	40.9	27.0
	あまり思わない(n=347)	56.2	36.3	28.0	11.8	45.5	28.8
	思わない(n=468)	52.4	32.5	20.1	11.3	40.6	27.6

(注)シャドー部分:全体平均より高いもの

(6) 住宅購入を検討することになったきっかけ

住宅購入を検討することになったきっかけは、「結婚」が22.0%と最も高く、以下「賃貸の契約更新時期だから」(18.9%)、「消費増税が迫っているから」(14.3%)などとなっている。

図表 25



主な意見	件数
特に理由はない	53
家賃が高い、家が古い・狭い	25
将来に備えて	18
マイホームがほしい	16
親や家族の関係	12
年齢を考えて	11
通勤・通学の関係	9
資金がたまった	7

《属性別》

各属性別でみると、「結婚」と回答した比率は、性別では女性、年代別では20代、居住地別では茨城県が高くなっている。

「賃貸の契約更新時期だから」と回答した比率は、性別では男性、年代別では40代、居住地別では東京都が高くなっている。

「消費増税が迫っているから」と回答した比率は、性別では男性、年代では30代、居住地では東京都と千葉県が高くなっている。

属性別に傾向がみられるものとして、「出産」と回答した比率は、性別では女性、年代別では20代で高くなっている。

図表 26

住宅購入のきっかけ《MA》【属性別】									(%)
		結 婚	賃 貸 の 契 約 更 新 時 期 だ か ら	消 費 増 税 が 迫 っ て い る か ら	出 産	子 ど も の 進 学	親 と 同 居	震 災 が あ っ た の で	転 勤
全体(n=1000)		22.0	18.9	14.3	12.0	11.9	10.3	6.6	6.0
性	男性(n=500)	21.0	20.6	14.6	7.8	11.4	11.8	7.0	6.4
	女性(n=500)	23.0	17.2	14.0	16.2	12.4	8.8	6.2	5.6
年代	20代(n=197)	33.7	14.5	15.5	20.2	8.3	13.0	6.2	6.2
	30代(n=403)	26.3	17.9	17.2	16.0	13.5	8.8	5.2	5.2
	40代(n=400)	12.0	22.0	10.8	4.0	12.0	10.5	8.3	6.8
居住地	千葉県(n=200)	18.5	18.5	16.0	10.5	11.0	9.0	5.5	4.5
	東京都(n=200)	20.0	23.5	16.5	11.5	12.0	6.0	4.0	7.5
	神奈川県(n=200)	22.5	19.5	12.5	12.5	9.0	11.5	5.0	7.0
	埼玉県(n=200)	22.5	17.0	13.0	12.5	14.5	13.0	7.0	5.5
	茨城県(n=200)	26.5	16.0	13.5	13.0	13.0	12.0	11.5	5.5

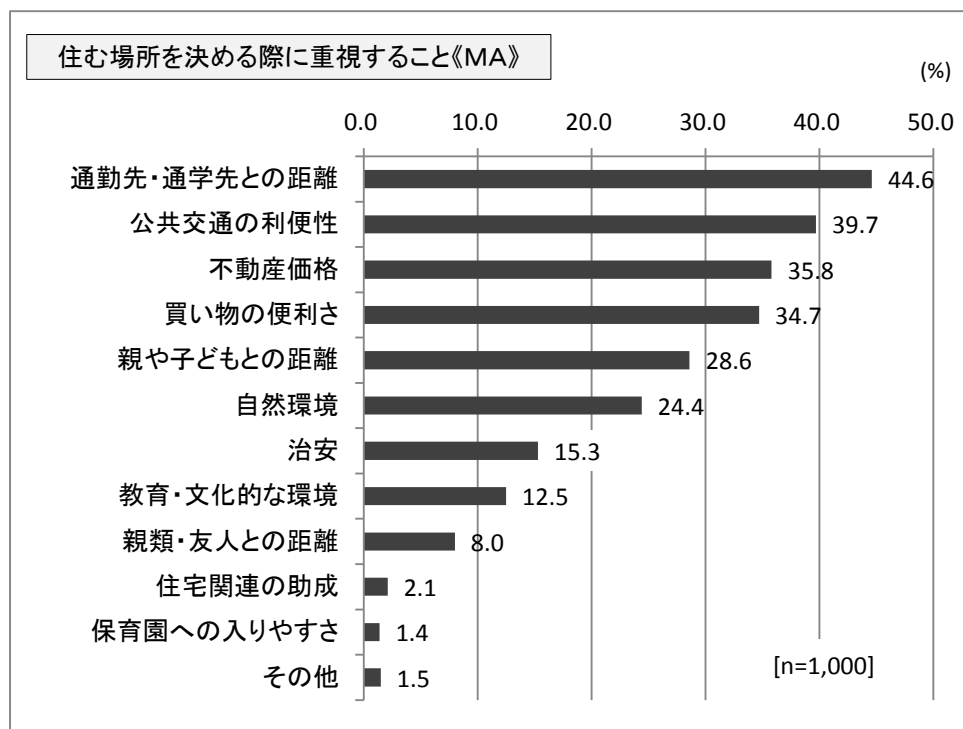
(注)シャドー部分:全体平均より高いもの

(7) 住む場所を決める際に重視すること

住む場所を決める際に重視することは、「通勤先・通学先との距離」が44.6%と最も高く、以下「公共交通の利便性」(39.7%)、「不動産価格」(35.8%)などとなっている。

一方、「住宅関連の助成」(2.1%)や「保育園への入りやすさ」(1.4%)の比率は低くなっている。

図表 27



《属性別》

各属性別でみると、「通勤先・通学先との距離」と回答した比率は、性別では差が見られず、年代では30代、居住地別では千葉県が高くなっている。

「公共交通の利便性」と回答した比率は、性別では女性、年代別では30代、居住地では東京都と埼玉県で高くなっている。

「不動産価格」と回答した比率は、性別では男性、年代では40代、居住地別で神奈川県と東京都が高くなっている。

属性別に傾向がみられるものとして、性別では、「買い物の便利さ」や「親や子どもとの距離」と回答した比率は、女性が男性を10ポイント以上上回っている。

年代別では、「買い物の便利さ」(41.3%)、「自然環境」(30.8%)と回答した比率は40代で、「親や子どもとの距離」と回答した比率は30代(32.7%)と20代(31.6%)で高くなっている。

居住地別では、「買い物の便利さ」と回答した比率は千葉県(40.0%)、「親や子どもとの距離」と回答した比率は茨城県(34.5%)で高くなっており、それぞれ東京都に比べて10ポイント以上高くなっている。

図表 28

住む場所を決める際に重視すること《MA》【属性別】													(%)
		通勤先・通学先との距離	公共交通の利便性	不動産価格	買い物の便利さ	親や子どもとの距離	自然環境	治安	教育・文化的な環境	親類・友人との距離	住宅関連の助成	その他	保育園への入りやすさ
全体(n=1000)		44.6	39.7	35.8	34.7	28.6	24.4	15.3	12.5	8.0	2.1	1.5	1.4
性	男性(n=500)	44.6	38.0	38.8	28.6	23.0	25.8	16.2	10.4	6.2	3.0	1.6	1.8
	女性(n=500)	44.6	41.4	32.8	40.8	34.2	23.0	14.4	14.6	9.8	1.2	1.4	1.0
年代	20代(n=197)	44.6	35.8	30.6	34.7	31.6	19.2	15.0	12.4	8.8	4.1	1.6	2.6
	30代(n=403)	46.7	43.7	35.1	28.3	32.7	20.6	15.2	11.3	9.3	1.2	1.0	1.7
	40代(n=400)	42.5	37.5	39.0	41.3	23.0	30.8	15.5	13.8	6.3	2.0	2.0	0.5
居住地	千葉県(n=200)	51.5	40.5	34.0	40.0	28.5	25.0	16.5	8.5	7.0	0.5	1.0	2.0
	東京都(n=200)	46.0	48.0	39.0	28.0	22.0	23.5	16.0	11.5	7.0	5.0	1.5	1.0
	神奈川県(n=200)	44.0	36.5	41.0	34.0	28.0	25.0	17.5	14.0	9.5	0.5	1.5	1.5
	埼玉県(n=200)	39.5	43.5	28.5	37.0	30.0	21.0	14.5	15.0	8.0	2.5	0.5	1.5
	茨城県(n=200)	42.0	30.0	36.5	34.5	34.5	27.5	12.0	13.5	8.5	2.0	3.0	1.0

(注)シャドー部分:全体平均より高いもの

《我孫子市への居注意向別》

住む場所を決める際に重視する点の上位 7 項目について、我孫子市への居注意向（我孫子市は住宅購入の候補地となると思うか）別にみると、我孫子市は住宅購入の候補地となると「思う（思う+やや思う）」と回答した人は、「思わない（思わない+あまり思わない）」と回答した人に比べて、「親や子どもとの距離」と回答した比率が高くなっている。

一方、我孫子市は住宅購入の候補地となると「思わない（あまり思わない+思わない）」と回答した人は、「思う（思う+やや思う）」と回答した人に比べて、「公共交通の利便性」や「買い物の便利さ」と回答した比率が高くなっている。

図表 29

住む場所を決める際に重視する点の上位7項目《MA》 【我孫子市への居注意向別】		(%)						
		通勤先・通学先との距離	公共交通の利便性	不動産価格	買い物の便利さ	親や子どもとの距離	自然環境	治安
全体(n=1000)		44.6	39.7	35.8	34.7	28.6	24.4	15.3
居注意向別	思う(n=26)	42.3	23.1	30.8	19.2	34.6	34.6	7.7
	やや思う(n=159)	47.8	30.2	35.2	28.3	33.3	23.3	14.5
	あまり思わない(n=347)	42.4	40.9	37.8	35.7	25.1	30.0	15.0
	思わない(n=468)	45.3	42.9	34.8	37.0	29.3	20.1	16.2

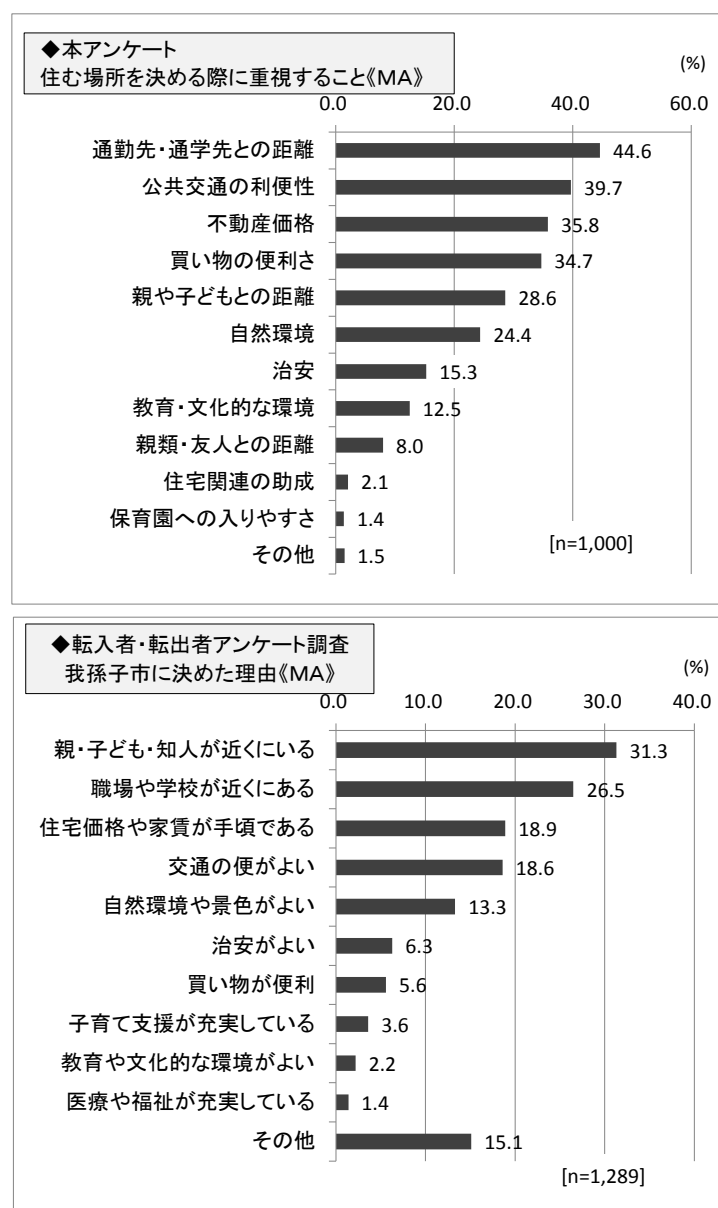
(注)シャド一部分:全体平均より高いもの

《転入者・転出者アンケート調査との比較》

住む場所を決める際に重視する点について、転入者・転出者アンケート調査の結果と比較すると、どちらのアンケートでも、「通勤先・通学先との距離（職場や学校が近くにある）」と「不動産価格（住宅価格や家賃が手頃である）」は上位を占めている。

差がみられるものとして、転入者・転出者アンケート調査の結果では「親・子ども・知人がいる」（31.3%）が最も高くなっているが、本アンケートでの「親や子どもとの距離」（28.6%）は第5位となっている。

図表 30



※転入者・転出者アンケート調査（平成24年11月～平成25年4月 6か月分）

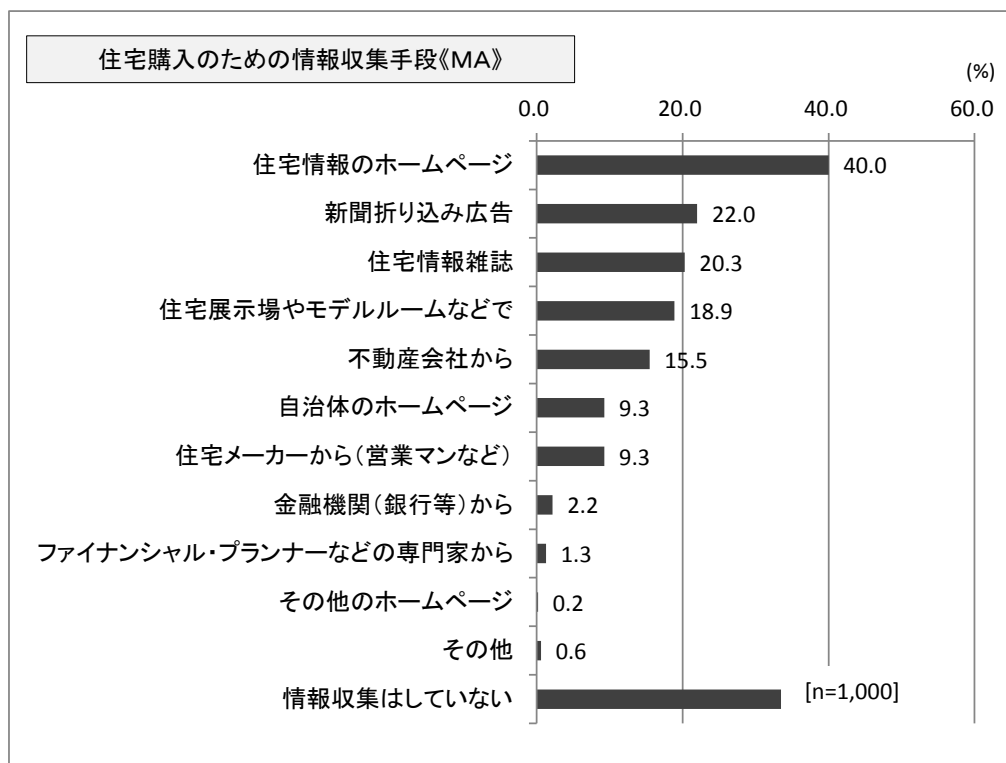
有効回答：転入者1,289人、転出者1,330人

「我孫子市に決めた理由」は転入者のみ回答

(8) 住宅購入のための情報収集手段

住宅購入のための情報収集手段は、「住宅情報のホームページ」が40.0%と最も高く、以下「新聞折り込み広告」(22.0%)、「住宅情報雑誌」(20.3%) などとなっている。

図表 31



《属性別》

各属性別でみると、「住宅情報のホームページ」の比率が高いのは、性別では男性、年代別では40代、居住地別では東京都となっている。

「新聞折り込み広告」の比率が高いのは、性別では女性、年代別では40代、居住地別では埼玉県と千葉県となっている。

「住宅情報雑誌」では、性別では差はほとんどみられず、年代別では40代、居住地別では神奈川県で比率が高くなっている。

属性別に傾向がみられるものとして、「住宅展示場やモデルルームなどで」は、年代別では30代、居住地別では茨城県が高くなっている。

図表 32

住宅購入のための情報収集手段《MA》【属性別】		(%)								
		住宅情報のホームページ	新聞折り込み広告	住宅情報雑誌	住宅展示場やモデルルームなどで	不動産会社から	自治体のホームページ	住宅メーカーから（営業マンなど）	金融機関（銀行等）から	ファイナンシャル・プランナーなどの専門家から
全体(n=1000)		40.0	22.0	20.3	18.9	15.5	9.3	9.3	2.2	1.3
性	男性(n=500)	40.6	20.4	20.2	18.8	15.0	10.2	8.6	3.0	1.6
	女性(n=500)	39.4	23.6	20.4	19.0	16.0	8.4	10.0	1.4	1.0
年代	20代(n=197)	35.8	18.7	16.6	17.1	14.0	15.5	10.4	3.1	1.6
	30代(n=403)	40.0	20.4	20.9	22.4	15.7	8.4	9.6	1.7	1.2
	40代(n=400)	42.0	25.3	21.5	16.3	16.0	7.3	8.5	2.3	1.3
居住地	千葉県(n=200)	37.0	25.5	18.0	16.5	14.5	9.5	6.0	3.0	1.5
	東京都(n=200)	43.0	19.5	21.0	13.0	18.5	10.0	9.0	2.0	1.5
	神奈川県(n=200)	40.5	19.0	22.5	17.0	15.5	9.0	7.0	1.5	1.5
	埼玉県(n=200)	40.0	26.5	18.5	20.0	15.0	9.0	11.0	0.5	0.5
	茨城県(n=200)	39.5	19.5	21.5	28.0	14.0	9.0	13.5	4.0	1.5

(注)シャド一部分：全体平均より高いもの

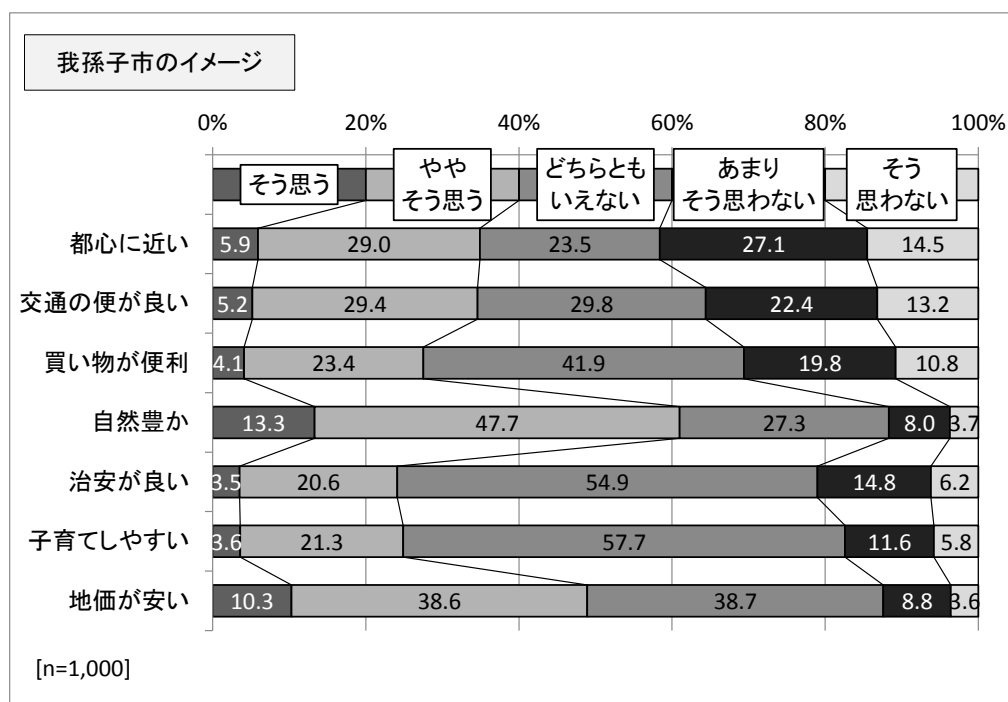
5. 我孫子市について

(1) 我孫子市のイメージ

我孫子市のイメージをたずねたところ、「思う（そう思う＋ややそう思う）」と回答した比率は「自然豊か」（61.0%）が最も高く、次いで「地価が安い」（48.9%）となっている。

「思わない（あまりそう思わない＋そう思わない）」が「思う（そう思う＋ややそう思う）」を上回っているのは、「都心に近い」、「買い物便利」などとなっている。

図表 33



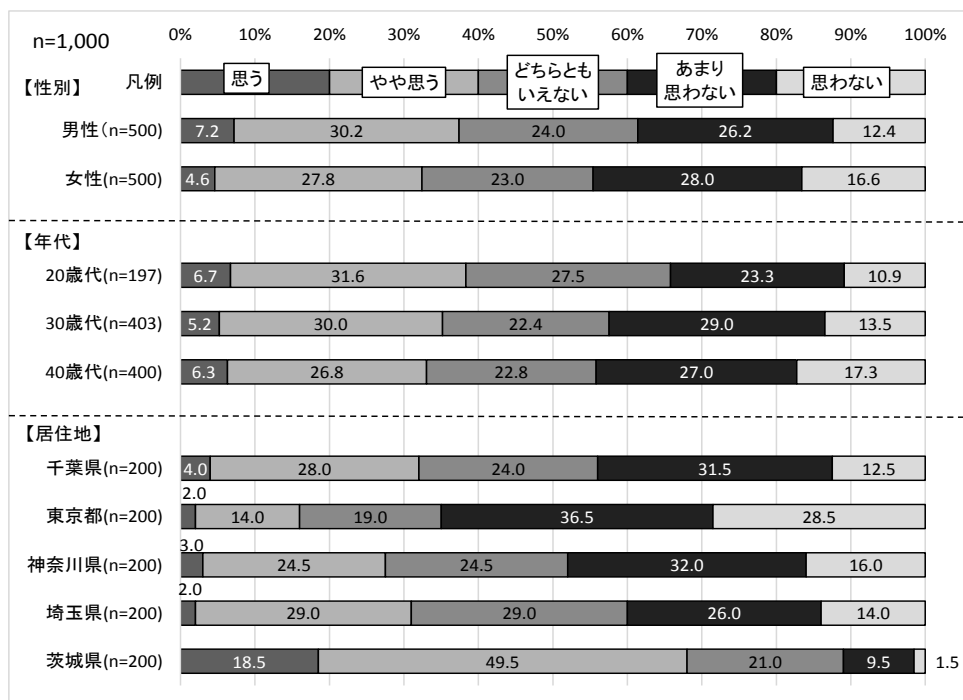
《属性別》

各属性別でみると、「都心に近い」で「思う（思う+ややそう思う）」と回答した比率が高いのは、性別では男性、年代別では20代、居住地別では茨城県となっている。

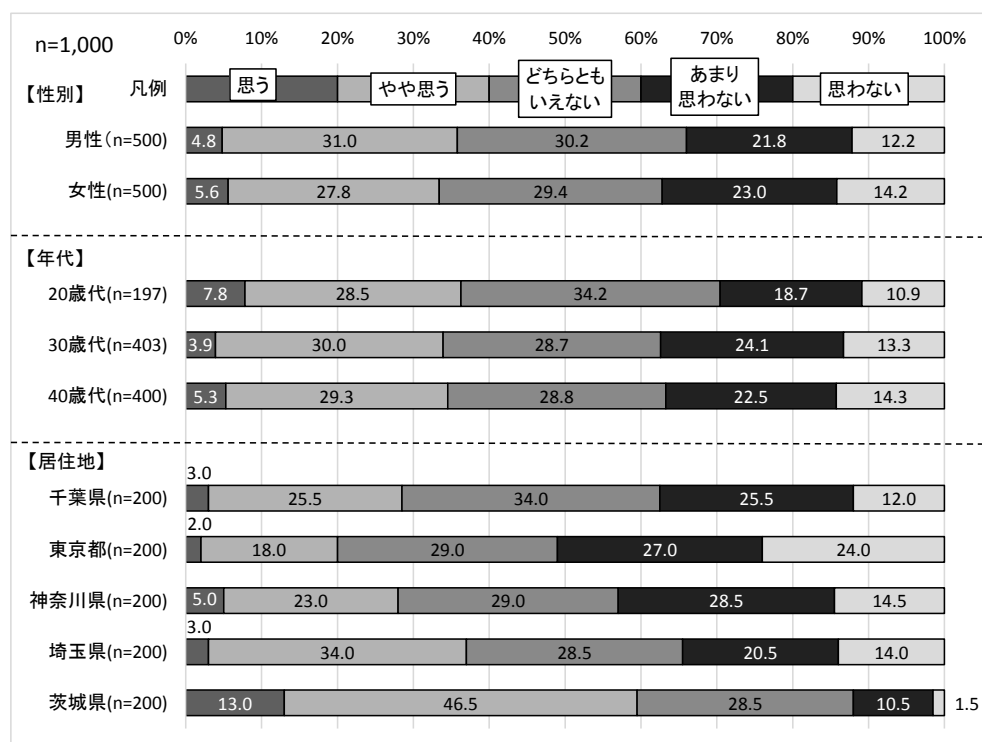
「交通の便が良い」で「思う（思う+ややそう思う）」と回答した比率が高いのは、性別では男性、年代別では20代、居住地別では茨城県となっている。

どちらの項目も居住地による差がみられる。

【都心に近い】



【交通の便が良い】

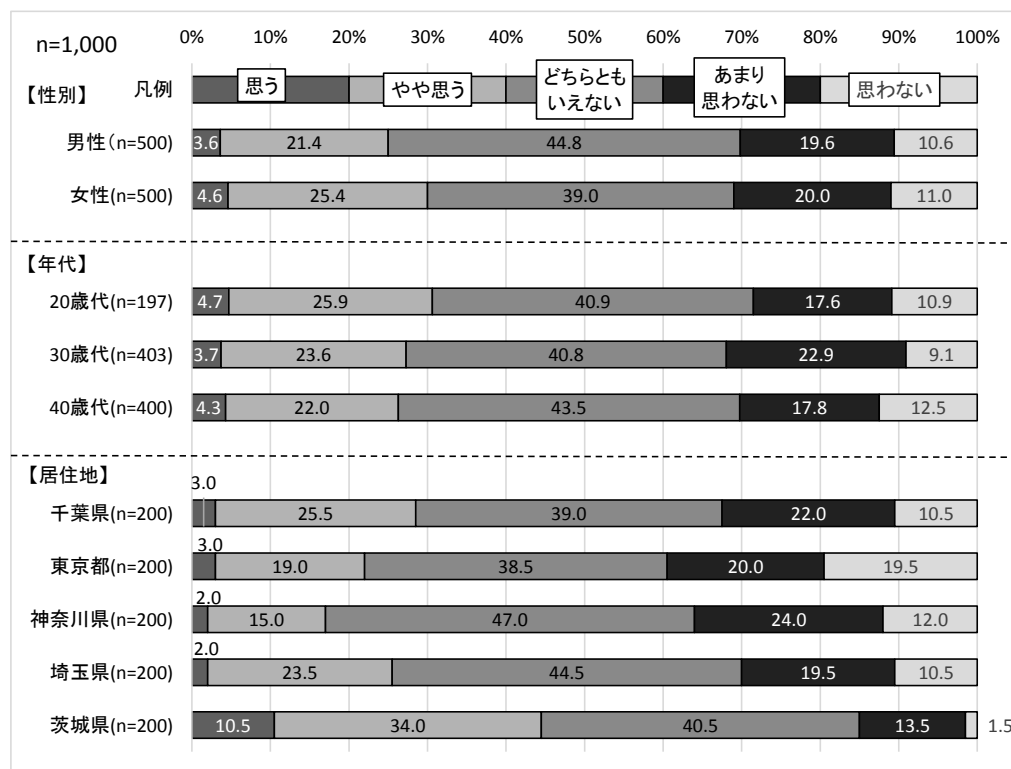


《属性別》

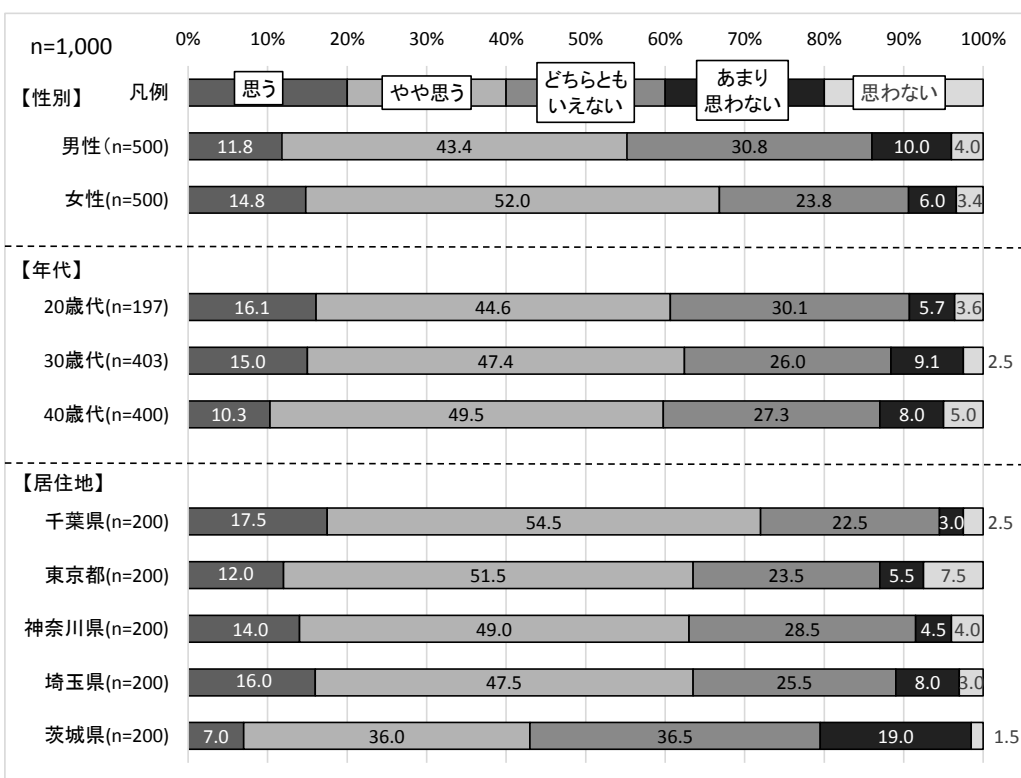
各属性別でみると、「買い物が便利」で「思う（思う+ややそう思う）」と回答した比率が高いのは、性別では女性、年代別では20代、居住地別では茨城県となっている。居住地別では地域による差がみられる。

「自然豊か」で「思う（思う+ややそう思う）」と回答した比率が高いのは、性別では女性、年代別では30代、居住地別では千葉県となっている。

【買い物が便利】



【自然豊か】

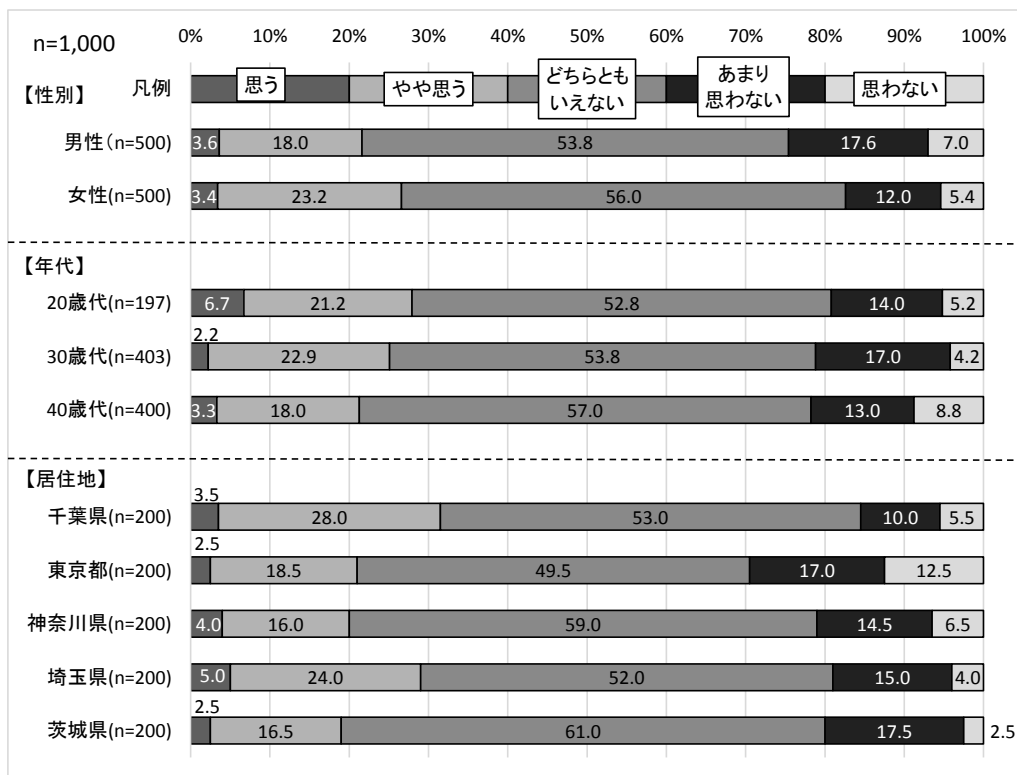


《属性別》

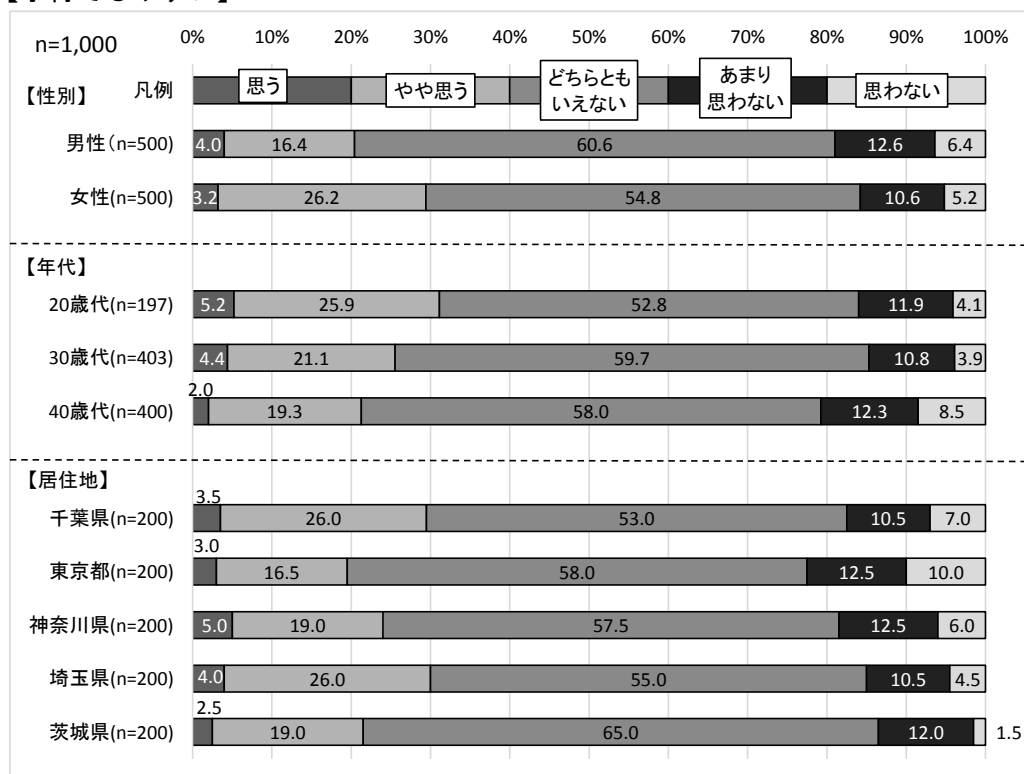
各属性別でみると、「治安が良い」で「思う（思う+ややそう思う）」と回答した比率が高いのは、性別では女性、年代別では20代、居住地別では千葉県となっている。ただし、ほとんどの属性で「どちらともいえない」が半数を上回っている。

「子育てしやすい」で「思う（思う+ややそう思う）」と回答した比率が高いのは、性別では女性、年代別では20代、居住地別では埼玉県と千葉県となっている。ただし、すべての属性で「どちらともいえない」が半数を上回っている。

【治安が良い】



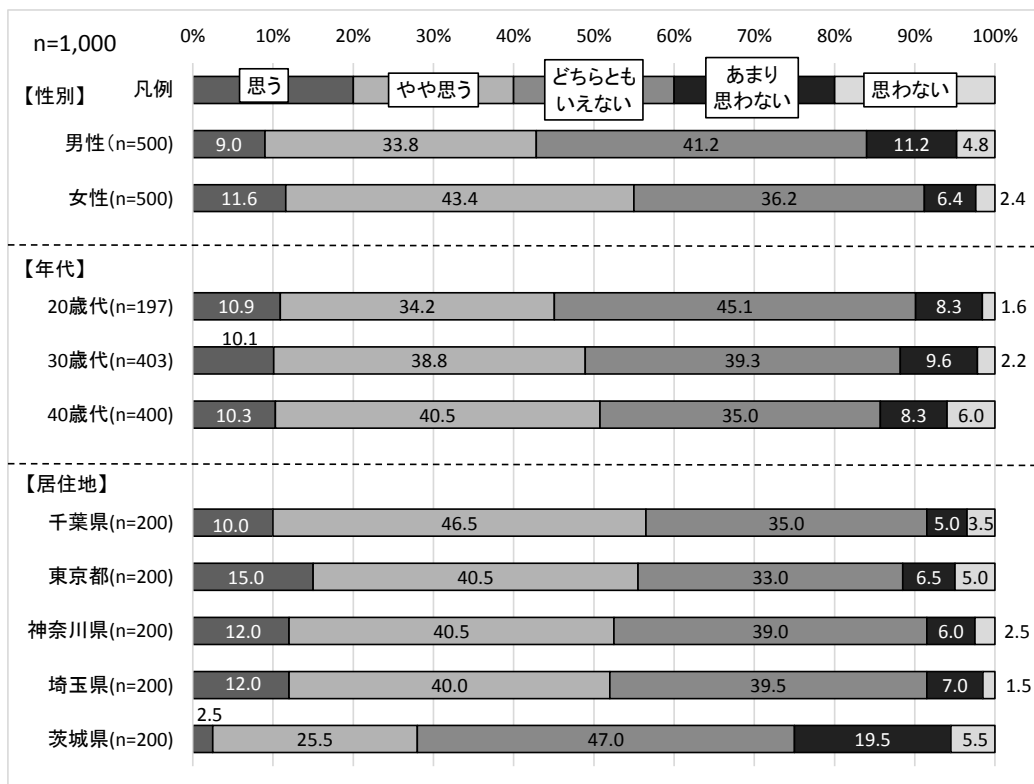
【子育てしやすい】



≪属性別≫

各属性性別で見ると、「地価が安い」で「思う（思う+ややそう思う）」と回答した比率が高いのは、性別では女性、年代別では40代、居住地別では千葉県と東京都となっている。

【地価が安い】



《我孫子市への居留意向別》

我孫子市のイメージについて、我孫子市への居留意向（住宅購入の候補地となると思うか）別にみると、我孫子市は住宅購入の候補地となると「思う（思う+やや思う）」と回答した人は、すべての項目で「思う（そう思う+ややそう思う）」の比率が高く、我孫子市に対して好意的なイメージを持っていることがうかがえる。

一方、「思わない（思わない+あまり思わない）」と回答した人は、すべての項目で「思わない（思わない+あまりそう思わない）」の比率が高くなっている。

図表 34

		都心に近い					交通の便が良い					買い物が便利				
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	思わない	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	思わない	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	思わない
全体(n=1000)		5.9	29.0	23.5	27.1	14.5	5.2	29.4	29.8	22.4	13.2	4.1	23.4	41.9	19.8	10.8
住宅購入の候補地となると思うか（別）	思う(n=26)	38.5	38.5	11.5	11.5	0.0	42.3	30.8	15.4	3.8	7.7	30.8	42.3	19.2	3.8	3.8
	やや思う(n=159)	10.7	49.1	22.6	14.5	3.1	10.1	46.5	27.7	13.2	2.5	7.5	41.5	38.4	10.1	2.5
	あまり思わない(n=347)	3.2	34.6	26.2	30.0	6.1	3.2	36.3	35.2	20.2	5.2	2.6	25.4	50.1	17.9	4.0
	思わない(n=468)	4.5	17.5	22.4	30.1	25.4	3.0	18.4	27.4	28.2	23.1	2.6	14.7	38.2	25.4	19.0

		自然豊か					治安が良い					子育てしやすい					地価が安い				
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	思わない	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	思わない	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	思わない	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	思わない
全体(n=1000)		13.3	47.7	27.3	8.0	3.7	3.5	20.6	54.9	14.8	6.2	3.6	21.3	57.7	11.6	5.8	10.3	38.6	38.7	8.8	3.6
住宅購入の候補地となると思うか（別）	思う(n=26)	42.3	42.3	11.5	3.8	0.0	30.8	30.8	26.9	11.5	0.0	34.6	23.1	34.6	7.7	0.0	34.6	26.9	26.9	11.5	0.0
	やや思う(n=159)	17.6	59.1	17.6	5.7	0.0	8.8	37.7	41.5	11.9	0.0	7.5	34.0	47.8	9.4	1.3	11.9	43.4	37.1	5.7	1.9
	あまり思わない(n=347)	11.8	51.3	27.7	8.6	0.6	2.9	23.1	57.9	14.4	1.7	2.0	25.6	62.2	9.2	0.9	6.3	44.4	39.8	8.1	1.4
	思わない(n=468)	11.3	41.5	31.2	8.5	7.5	0.6	12.4	58.8	16.2	12.0	1.7	13.7	59.0	14.3	11.3	11.3	33.3	39.1	10.3	6.0

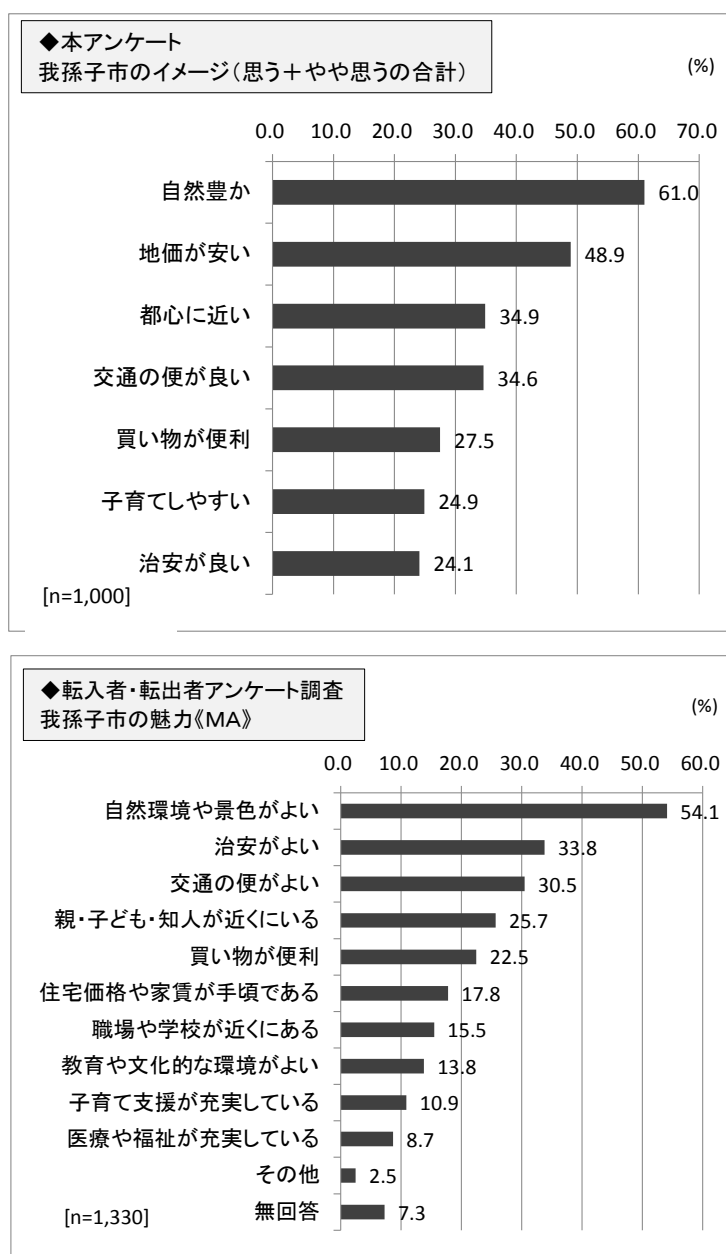
(注)シャド一部分：全体平均より高いもの

《転入者・転出者アンケート調査との比較》

我孫子市のイメージについて、「転入者・転出者アンケート調査」と比較すると、どちらのアンケートも「自然豊か（自然環境や景色がよい）」で最も比率が高くなっている。

差がみられるものとして、本アンケートでは「地価が安い」（48.9%）が半数程度を占めるのに対し、「転入者・転出者アンケート調査」の「住宅価格や家賃が手頃である」（17.8%）では2割弱にとどまっている。

図表 35



※転入者・転出者アンケート調査（平成24年11月～平成25年4月 6か月分）

有効回答：転入者1,289人、転出者1,330人

「我孫子市の魅力」は転出者のみ回答

(2) 我孫子市について知っていること

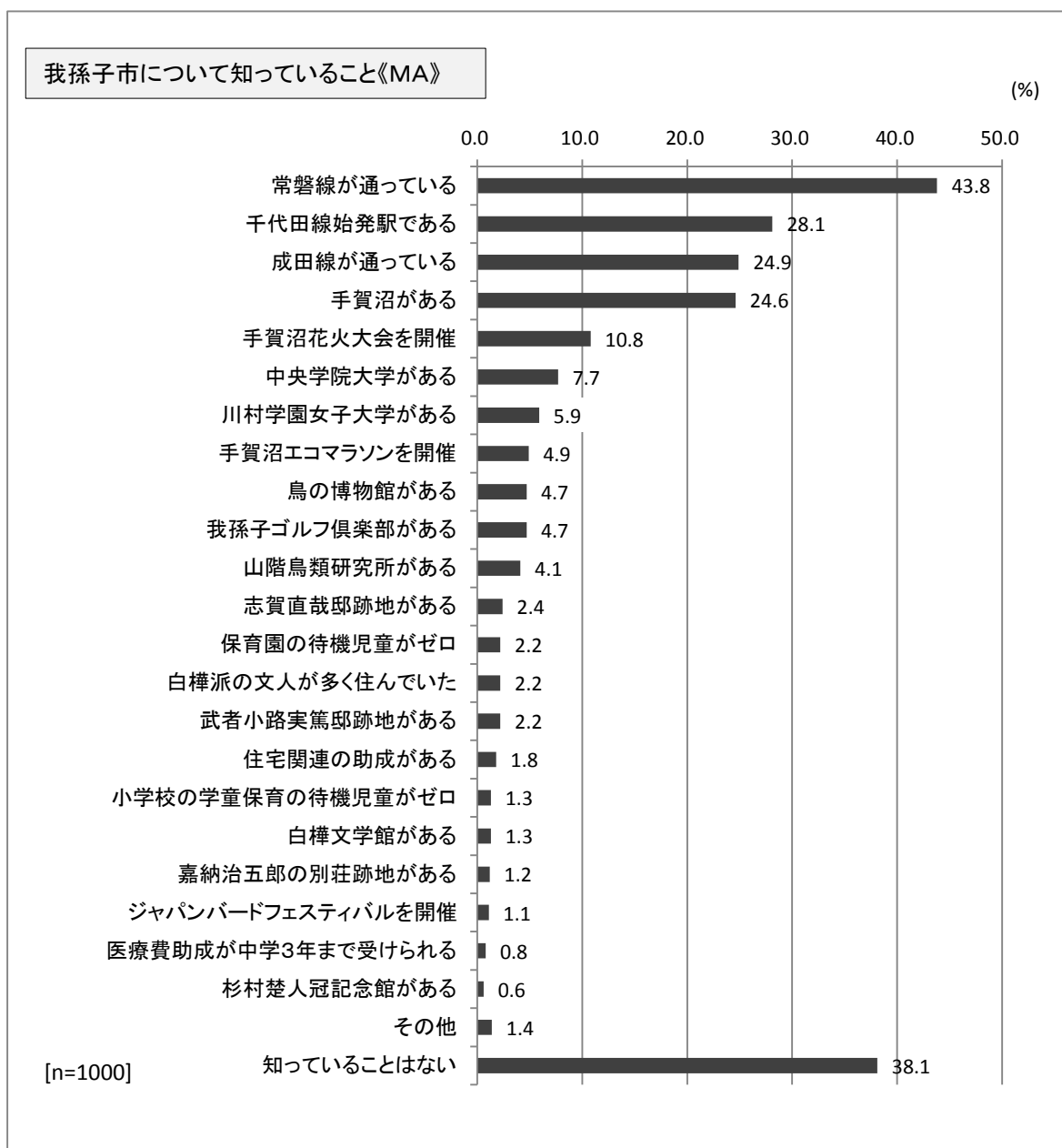
我孫子市について知っていることは、「常磐線が通っている」が43.8%と最も高く、次いで「千代田線始発駅である」が28.1%、「成田線が通っている」が24.9%と鉄道に関する認知度が高い。

地域資源に関するものでは「手賀沼がある」が24.6%、「手賀沼花火大会を開催」が10.8%などとなっている。

一方、我孫子市が力を入れている「保育園の待機児童がゼロ」、「小学校の学童保育の待機児童がゼロ」、「医療費助成が中学3年まで受けられる」などの子育て支援施策についての認知度は低くなっている。

なお、我孫子市について「知っていることはない」の比率が2番目に高く、4割近くを占めている。

図表 36



《属性別》

性別でみると、「常磐線が通っている」で比率が高いのは、性別では男性、年代別では40代、居住地では茨城県と千葉県となっている。

「千代田線始発駅である」で比率が高いのは、性別では男性、年代別では40代、居住地では東京都と千葉県となっている。

「成田線が通っている」で比率が高いのは、性別では男性、年代別では40代、居住地では千葉県と茨城県となっている。

一方、「知っていることはない」と回答した比率が高いのは、性別では女性、年代別では20代、居住地別では東京都、神奈川県、埼玉県となっている。

図表 37

我孫子市について知っていること《MA》		(%)											
		常磐線が通っている	千代田線始発駅である	成田線が通っている	手賀沼がある	手賀沼花火大会を開催	中央学院大学がある	川村学園女子大学がある	開催手賀沼エコマラソンを	鳥の博物館がある	ある我孫子ゴルフ倶楽部がある	山階鳥類研究所がある	志賀直哉邸跡地がある
全体(n=1000)		43.8	28.1	24.9	24.6	10.8	7.7	5.9	4.9	4.7	4.7	4.1	2.4
性	男性(n=500)	46.4	31.0	27.8	28.6	9.4	9.8	6.4	6.4	4.8	6.2	5.2	3.6
	女性(n=500)	41.2	25.2	22.0	20.6	12.2	5.6	5.4	3.4	4.6	3.2	3.0	1.2
年代	20代(n=197)	36.3	21.2	17.6	20.7	8.8	5.2	4.1	4.1	3.6	2.1	4.7	1.6
	30代(n=403)	41.0	26.8	24.8	22.9	11.3	8.1	6.9	5.4	3.7	4.2	3.2	2.0
	40代(n=400)	50.3	32.8	28.5	28.3	11.3	8.5	5.8	4.8	6.3	6.5	4.8	3.3
居住地	千葉県(n=200)	52.0	35.0	40.5	52.5	27.0	16.5	7.5	15.0	11.0	8.5	8.5	6.0
	東京都(n=200)	41.5	37.0	21.5	15.0	3.5	4.0	3.5	2.5	1.5	4.0	3.5	1.5
	神奈川県(n=200)	25.0	23.0	12.5	8.5	4.5	3.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.5	1.0
	埼玉県(n=200)	37.5	19.0	16.5	14.5	5.0	1.5	0.5	1.5	2.0	2.0	1.0	1.5
	茨城県(n=200)	63.0	26.5	33.5	32.5	14.0	13.5	15.5	4.0	7.0	7.0	5.0	2.0
		保育園の待機児童がゼロ	白樺の文人が多く住んでいる	武者小路実篤邸跡地がある	住宅関連の助成がある	児童がゼロ	小学校の学童保育の待機	白樺文学館がある	ある嘉納治五郎の別荘跡地が	ティバパンをバーフェス	医療費助成が中学3年まで受けられる	杉村楚人冠記念館がある	知っていることはない
全体(n=1000)		2.2	2.2	2.2	1.8	1.3	1.3	1.2	1.1	0.8	0.6	38.1	
性	男性(n=500)	1.4	1.8	3.4	1.4	1.6	2.0	2.4	1.0	0.8	0.8	35.2	
	女性(n=500)	3.0	2.6	1.0	2.2	1.0	0.6	0.0	1.2	0.8	0.4	41.0	
年代	20代(n=197)	3.1	1.0	1.6	2.1	1.6	1.0	2.1	1.0	2.1	1.6	43.0	
	30代(n=403)	3.2	2.0	2.2	2.0	1.7	0.7	1.0	1.0	1.0	0.7	40.5	
	40代(n=400)	0.8	3.0	2.5	1.5	0.8	2.0	1.0	1.3	0.0	0.0	33.3	
居住地	千葉県(n=200)	2.5	5.5	4.5	1.0	3.0	3.0	1.5	3.5	1.0	1.5	22.5	
	東京都(n=200)	1.5	0.5	2.0	2.5	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0	42.0	
	神奈川県(n=200)	3.0	2.0	0.5	2.5	0.5	0.0	1.0	0.5	0.5	0.5	55.5	
	埼玉県(n=200)	3.0	1.5	2.0	2.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.5	0.0	45.0	
	茨城県(n=200)	1.0	1.5	2.0	0.5	0.0	1.0	1.5	0.5	0.0	1.0	25.5	

(注)シャドー部分: 全体平均より高いもの

《我孫子市への居住意向別》

我孫子市について知っていることの上位10項目について、居住意向（我孫子市は住宅購入の候補地となると思うか）別にみると、全体的に我孫子市は住宅購入の候補地となると「思う（思う+やや思う）」と回答した人の認知度が高くなっている。

一方、我孫子市は住宅購入の候補地となると「思わない」と回答した人が「知っていることはない」と回答した比率は50.6%と約半数を占めている。

図表 38

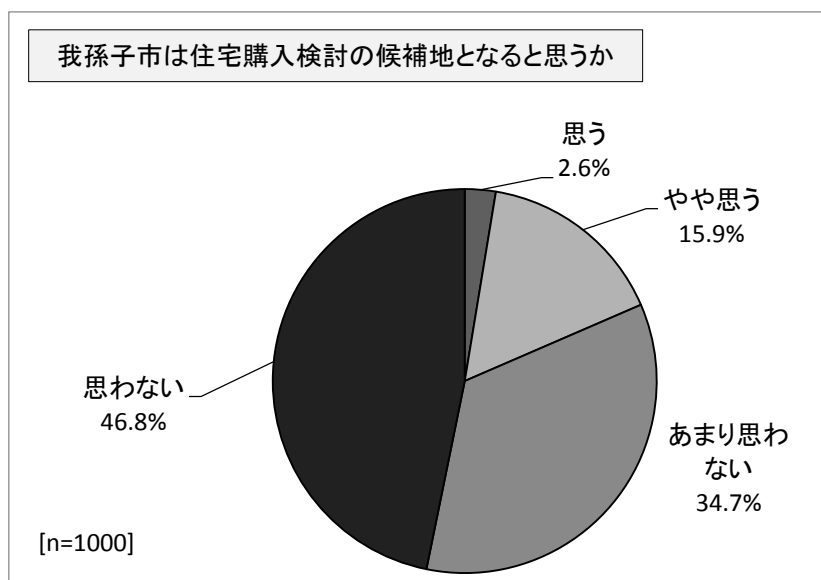
我孫子市について知っていることの上位10項目《MA》【居住意向別】												(%)		
		常磐線が通っている	千代田線始発駅である	成田線が通っている	手賀沼がある	手賀沼花火大会を開催	中央学院大学がある	川村学園女子大学がある	開催	手賀沼エコマラソンを	鳥の博物館がある	ある	我孫子ゴルフ倶楽部がある	知っていることはない
全体(n=1000)		43.8	28.1	24.9	24.6	10.8	7.7	5.9	4.9	4.7	4.7	4.7	38.1	
居住意向（我孫子市は住宅購入の候補地となると思うか）別	思う(n=26)	57.7	53.8	50.0	38.5	15.4	11.5	15.4	11.5	7.7	7.7	7.7	7.7	
	やや思う(n=159)	54.7	35.2	39.0	39.6	17.6	17.0	11.3	13.2	13.8	10.1	18.9	18.9	
	あまり思わない(n=347)	49.9	31.1	27.7	26.5	11.5	8.4	6.3	4.3	4.3	4.6	32.3	32.3	
	思わない(n=468)	34.8	22.0	16.7	17.3	7.7	3.8	3.2	2.1	1.7	2.8	50.6	50.6	

(注)シャド一部分：全体平均より高いもの

(3) 我孫子市への居留意向（住宅購入検討の候補地となるか）

我孫子市への居留意向（住宅購入検討の候補地となると思うか）をたずねたところ、「思う（思う+やや思う）」と回答した比率は18.5%にとどまり、「思わない（あまり思わない）+（思わない）」と回答した比率は81.5%と8割強を占めている。

図表 39

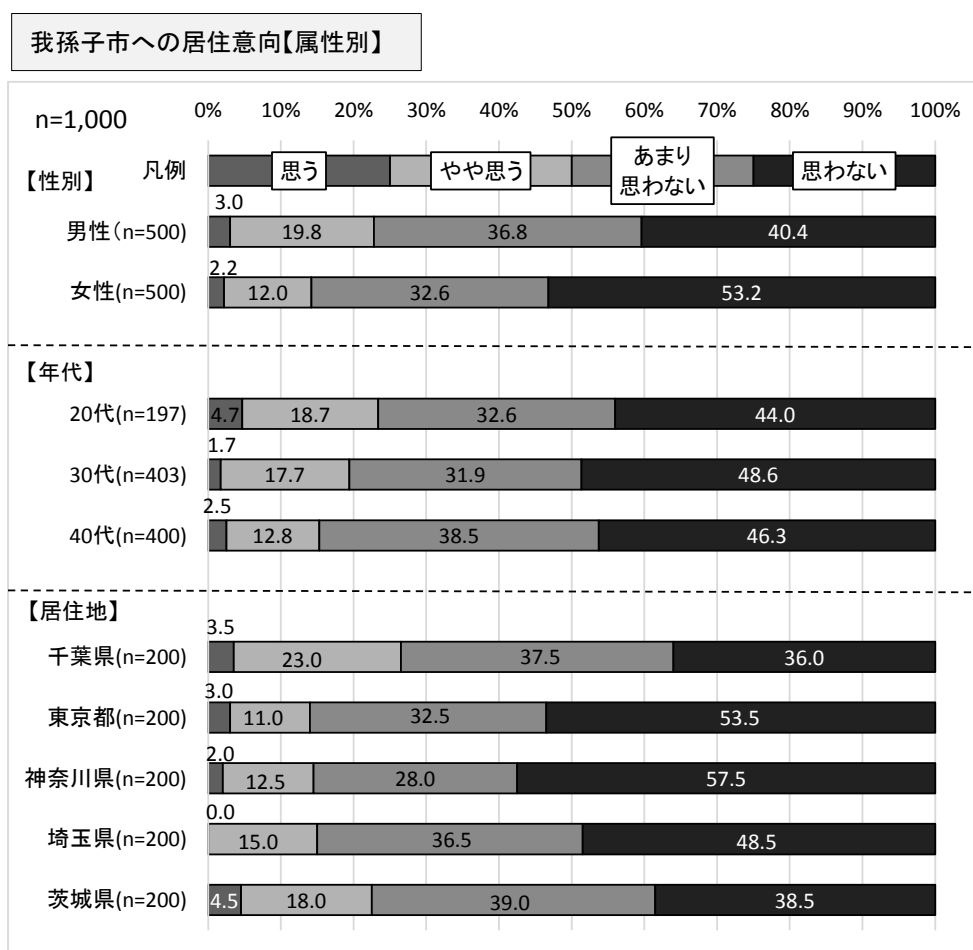


《属性別》

属性別でみると、我孫子市は住宅購入検討の候補地となると「思う（思う+やや思う）」と回答した比率が高いのは、性別では男性、年代では 20 代、居住地別では千葉県と茨城県となっている。

一方、「思わない」と回答した比率が半数を上回ったのは、性別では女性、居住地別では神奈川県と東京都となっている。

図表 40



《世帯別・世帯年収別》

性別に分けてさらに世帯別と世帯年収別にみると、我孫子市は住宅購入検討の候補地となると「思う（思う+ややそう思う）」と回答した比率が高いのは、男性の世帯別では「一人暮らし」と「自分と親」、世帯年収別では「～500万円未満」（300万円未満+500万円未満）となっている。

女性の世帯別においても「自分と親」と回答した比率が高くなっているが、世帯年収別ではばらつきがみられる。

男女ともに世帯年収別では、「700万円以上」と回答した人が、我孫子市は住宅購入検討の候補地となると「思わない」と回答した比率が高くなっている。

図表 41

我孫子市への居住意向【世帯別・世帯年収別】		(%)						(%)			
		思う	やや思う	あまり思わない	思わない			思う	やや思う	あまり思わない	思わない
男性						女性					
全体(n=1000)		3.0	19.8	36.8	40.4	全体(n=1000)		2.2	12.0	32.6	53.2
世帯別 (その他除く)	一人暮らし(n=125)	3.2	25.6	40.0	31.2	世帯別 (その他除く)	一人暮らし(n=61)	3.3	6.6	36.1	54.1
	夫婦のみ(n=94)	2.1	13.8	37.2	46.8		夫婦のみ(n=139)	0.7	8.6	30.9	59.7
	夫婦(自分)と子ども (未婚・既婚含む)(n=163)	3.1	17.2	34.4	45.4		夫婦(自分)と未婚の子ども (未婚・既婚含む)(n=212)	2.4	14.2	32.1	51.4
	自分と親(n=92)	4.3	23.9	37.0	34.8		自分と親(n=46)	2.2	19.6	32.6	45.7
	三世帯(n=19)	0.0	15.8	31.6	52.6		三世帯(n=25)	8.0	4.0	40.0	48.0
世帯 年収別	300万円未満(n=29)	13.8	31.0	37.9	17.2	世帯 年収別	300万円未満(n=56)	1.8	10.7	35.7	51.8
	300～500万円未満(n=120)	3.3	25.0	37.5	34.2		300～500万円未満(n=128)	0.8	13.3	34.4	51.6
	500～700万円未満(n=129)	1.6	20.2	39.5	38.8		500～700万円未満(n=96)	5.2	15.6	32.3	46.9
	700～1000万円未満(n=121)	3.3	19.0	29.8	47.9		700～1000万円未満(n=98)	3.1	11.2	29.6	56.1
	1000万円以上(n=70)	1.4	11.4	41.4	45.7		1000万円以上(n=77)	1.3	10.4	29.9	58.4

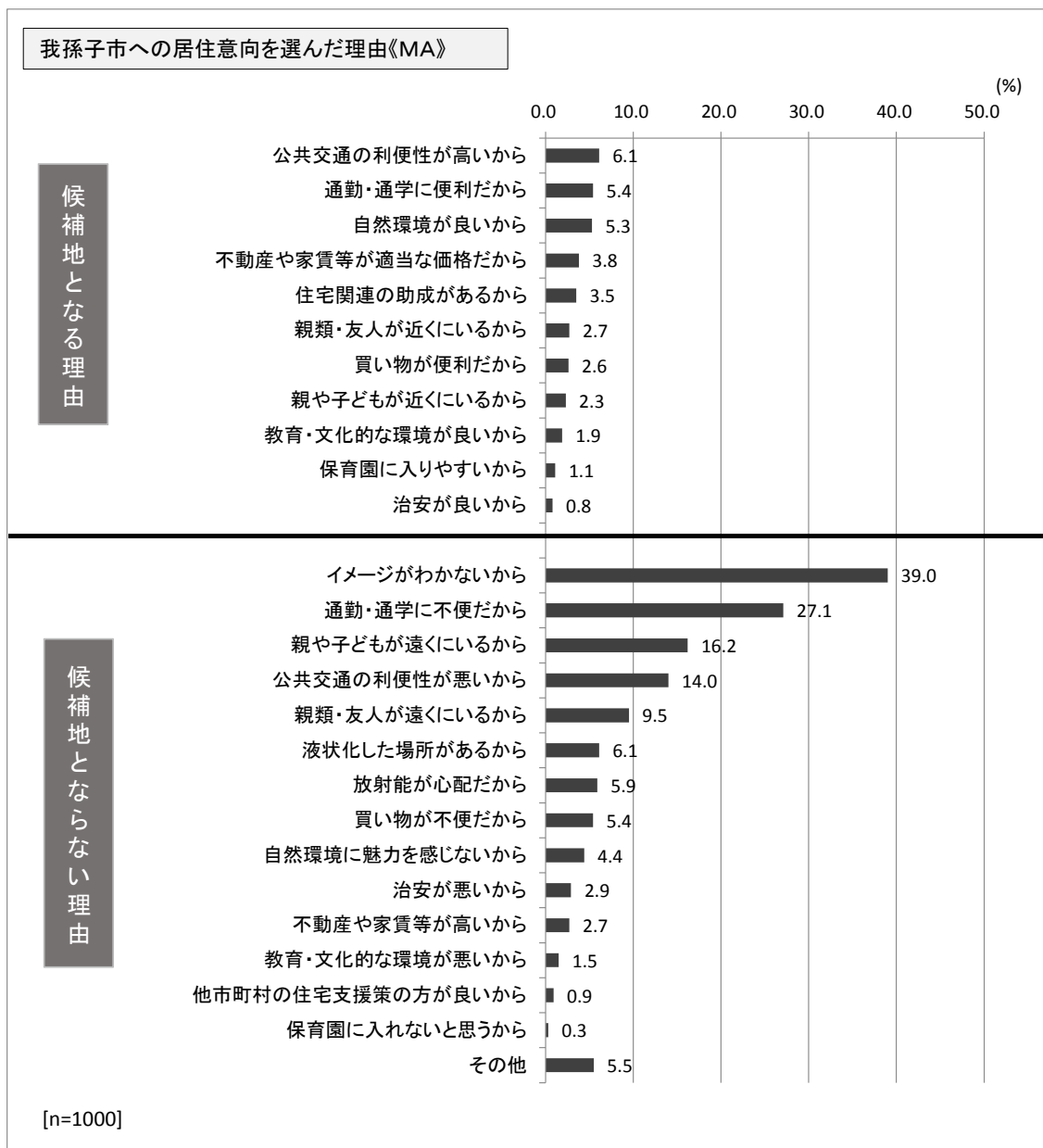
(注)シャドー部分:全体平均より高いもの

(4) 我孫子市への居留意向を選んだ理由

我孫子市への居留意向（住宅購入検討の候補地となると思うか）を選んだ理由をみると、候補地となる理由では、「公共交通の利便性が高いから」が6.1%と最も高く、以下「通勤・通学に便利だから」（5.4%）、「自然環境が良いから」（5.3%）などとなっている。

一方、候補地とならない理由では、「イメージがわからないから」が39.0%と最も高く、以下「通学・通勤に不便だから」（27.1%）、「親や子どもが遠くにいるから」（16.2%）などとなっている。

図表 42



《属性別》

候補地となる理由をみると、「公共交通の利便性が高いから」と回答した比率が高いのは、性別では男性、年代別では20代と30代、居住地別では千葉県と茨城県となっている。

「通勤・通学に便利だから」と回答した比率が高いのは、性別では男性、年代別では20代、居住地別では千葉県と茨城県となっている。

一方、候補地とならない理由では、「イメージがわからないから」と回答した比率が高いのは、性別では女性、年代別では20代と40代、居住地別では東京都、神奈川県、埼玉県となっている。

「通勤・通学に不便だから」と回答した比率が高いのは、性別では女性、年代別では30代、居住地別では東京都と埼玉県となっている。

図表 43

我孫子市への居住意向を選んだ理由《MA》【属性別】		(%)										
候補地となる理由		が公共 交通の 利便性	だ通勤・ 通学に 便利	ら自然 環境が 良いか	適不 当な 価格 だから	ある 住宅 関連 の助成 が	に親 類・ 友人 が近 く	ら買 い物 が便 利だ か	に親 や子 ども が近 く	境が 良・ 文化 的な 環	い育 園に 入り やす	治安 が良 いから
全体(n=1000)		6.1	5.4	5.3	3.8	3.5	2.7	2.6	2.3	1.9	1.1	0.8
性	男性(n=500)	7.4	6.2	5.8	4.2	3.6	4.2	2.2	2.8	1.6	0.8	0.6
	女性(n=500)	4.8	4.6	4.8	3.4	3.4	1.2	3.0	1.8	2.2	1.4	1.0
年代	20代(n=197)	6.2	7.3	6.2	5.2	3.6	4.7	4.1	2.1	4.1	2.6	1.6
	30代(n=403)	6.9	4.9	4.7	3.7	4.4	2.2	2.5	2.9	1.5	1.2	0.7
	40代(n=400)	5.3	5.0	5.5	3.3	2.5	2.3	2.0	1.8	1.3	0.3	0.5
居住地	千葉県(n=200)	9.0	7.5	8.0	6.0	4.5	3.5	4.0	5.0	3.0	2.0	0.5
	東京都(n=200)	4.5	4.5	2.5	5.0	2.0	3.0	0.5	0.0	1.0	0.0	0.5
	神奈川県(n=200)	4.5	3.5	5.5	2.0	3.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
	埼玉県(n=200)	4.5	4.5	3.5	2.5	4.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0
	茨城県(n=200)	8.0	7.0	7.0	3.5	3.5	3.5	6.0	4.0	3.0	1.0	1.5

候補地とならない理由		いイ メー ジが わか な	だ通勤・ 通学に 不便	に親 や子 ども が遠 く	が公 共交 通の 利便 性	に親 類・ 友人 が遠 く	ある 状況 化し た場 所が	ら放 射能 が心 配だ か	ら買 い物 が不 便だ か	感自 然環 境に 魅力 を	治安 が悪 いから	高不 動産 や家 賃等 が	境教 育・ 文化 的な 環	ら援 他市 町村 の良 い住 宅か 支	と保 育園 に入 れな い	そ 他
全体(n=1000)		39.0	27.1	16.2	14.0	9.5	6.1	5.9	5.4	4.4	2.9	2.7	1.5	0.9	0.3	5.5
性	男性(n=500)	37.0	26.0	11.6	13.2	6.8	5.2	5.6	5.2	6.2	2.6	3.6	1.8	1.2	0.6	5.8
	女性(n=500)	41.0	28.2	20.8	14.8	12.2	7.0	6.2	5.6	2.6	3.2	1.8	1.2	0.6	0.0	5.2
年代	20代(n=197)	39.4	25.9	15.0	14.5	10.9	3.6	3.6	4.7	3.1	3.1	3.6	1.0	1.0	0.0	2.1
	30代(n=403)	37.3	30.0	17.7	14.0	10.1	5.9	5.4	6.4	2.5	2.2	1.5	1.0	0.2	0.5	6.1
	40代(n=400)	40.5	24.8	15.3	13.8	8.3	7.5	7.5	4.8	7.0	3.5	3.5	2.3	1.5	0.3	6.5
居住地	千葉県(n=200)	34.0	26.5	14.0	15.0	6.5	6.5	8.5	7.5	3.5	1.5	2.0	1.0	0.0	0.0	4.0
	東京都(n=200)	39.5	31.5	13.5	22.5	7.5	8.0	7.0	8.5	4.0	5.5	1.0	3.0	0.5	0.5	5.5
	神奈川県(n=200)	44.5	23.0	14.0	12.5	10.0	8.0	5.5	5.5	5.0	2.5	2.5	1.5	2.0	0.0	9.0
	埼玉県(n=200)	44.5	30.5	19.0	16.5	11.5	3.0	5.0	3.5	3.5	1.5	1.0	1.0	1.5	0.0	3.0
	茨城県(n=200)	32.5	24.0	20.5	3.5	12.0	5.0	3.5	2.0	6.0	3.5	7.0	1.0	0.5	1.0	6.0

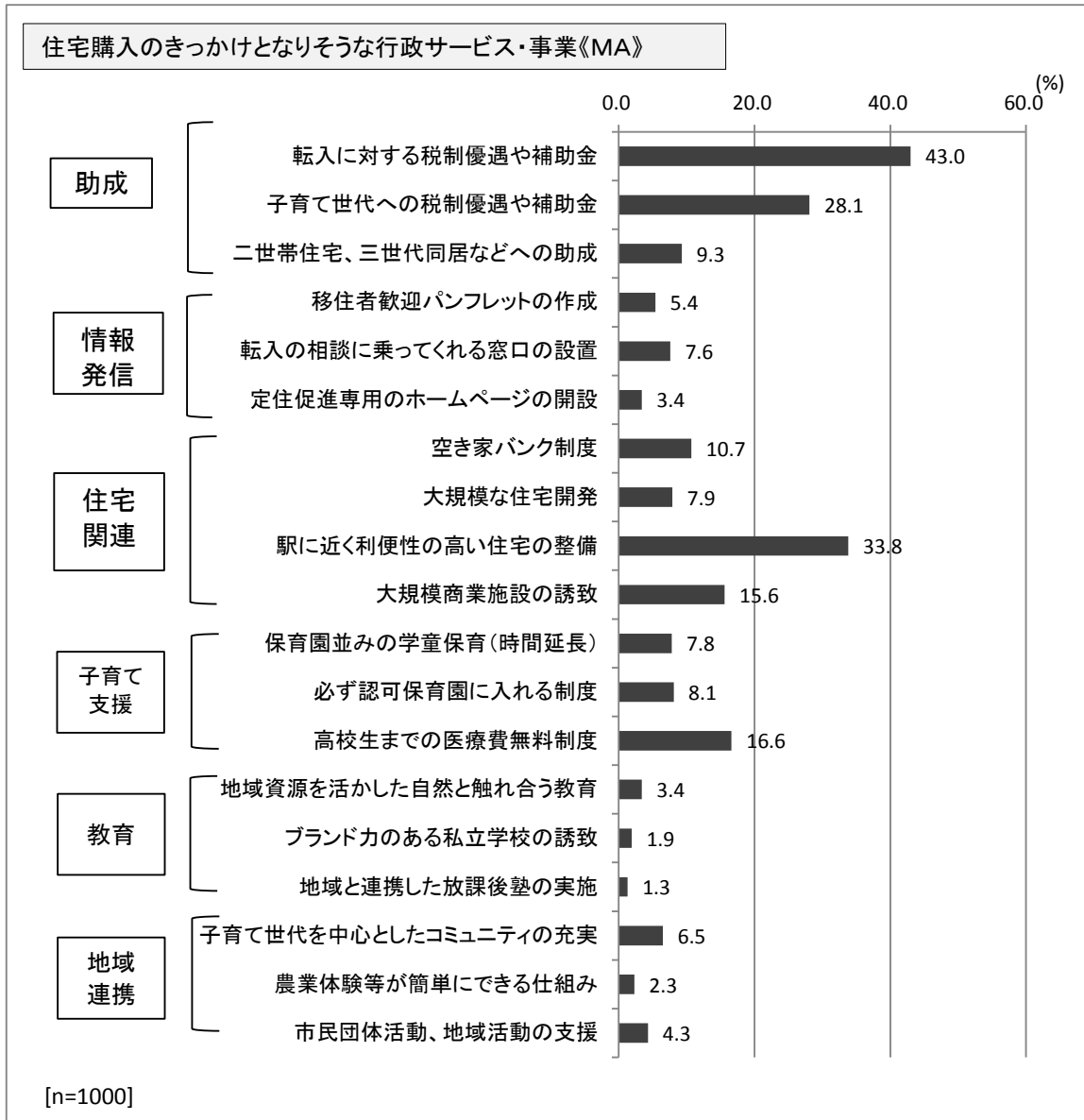
(注)シャド一部分：全体平均より高いもの

6. 行政サービス・事業について

(1) 住宅購入のきっかけとなりそうな行政サービス・事業

住宅購入のきっかけとなりそうな行政サービス・事業は、「転入に対する税制優遇や補助金」が43.0%と最も高く、次いで「駅に近く利便性の高い住宅の整備」が33.8%、「子育て世代への税制優遇や補助金」が28.1%などとなり、全体的に助成金に対する要望が高くなっている。

図表 44



《属性別》

属性別でみると、「転入に対する税制優遇や補助金」で比率が高いのは、性別では男性、年代別では40代、居住地別では茨城県と千葉県となっている。

「駅に近く利便性の高い住宅の整備」で比率が高いのは、性別では女性、年代別では30代と40代、居住地別では東京都と神奈川県となっている。

「子育て世代への税制優遇や補助金」で比率が高いのは、性別では女性、年代別では20代と30代、居住地別では茨城県となっている。

図表 45

		住宅購入のきっかけとなりそうな行政サービス・事業《MA》【属性別】											(%)
		助成			情報発信			住宅関連					
		や転 補入 助金 対 す る 税 制 優 遇	子 育 て 世 代 へ の 税 制 優 遇	居 住 者 の 住 宅 ・ 三 世 代 同 等	移 住 者 の 住 宅 ・ 三 世 代 同 等	移 住 者 の 住 宅 ・ 三 世 代 同 等	移 住 者 の 住 宅 ・ 三 世 代 同 等	定 住 者 の 住 宅 ・ 三 世 代 同 等	空 き 家 の 住 宅 ・ 三 世 代 同 等	大 規 模 な 住 宅 開 発	駅 に 近 く 利 便 性 の 高 い 住 宅 の 整 備	大 規 模 商 業 施 設 の 誘 致	
全体(n=1000)		43.0	28.1	9.3	5.4	7.6	3.4	10.7	7.9	33.8	15.6		
性	男性(n=500)	49.0	24.0	9.0	5.8	7.0	4.0	12.4	9.2	28.4	17.6		
	女性(n=500)	37.0	32.2	9.6	5.0	8.2	2.8	9.0	6.6	39.2	13.6		
年代	20代(n=197)	34.7	36.3	11.9	7.8	8.8	2.6	8.3	6.2	25.9	11.4		
	30代(n=403)	42.3	37.6	7.1	3.2	7.1	3.4	8.4	8.4	30.5	13.0		
	40代(n=400)	47.8	14.5	10.3	6.5	7.5	3.8	14.3	8.3	41.0	20.3		
居住地	千葉県(n=200)	45.0	26.5	10.5	4.0	9.0	5.5	10.0	10.0	35.5	17.5		
	東京都(n=200)	43.0	22.5	6.5	4.0	11.0	1.5	9.5	7.0	37.5	17.0		
	神奈川県(n=200)	38.0	27.0	7.5	5.0	9.0	4.5	14.5	8.0	37.0	13.0		
	埼玉県(n=200)	41.0	27.0	12.5	7.5	3.5	4.0	8.0	8.0	35.0	16.0		
	茨城県(n=200)	48.0	37.5	9.5	6.5	5.5	1.5	11.5	6.5	24.0	14.5		

		子育て支援			教育			地域連携		
		(保 育 園 延 び の 学 童 保 育)	必 ず 許 可 保 育 園 に 入 れ	料 制 度 ま で の 医 療 費 無	然 と 域 資 源 を 活 か し た 自	学 校 の 誘 致	塾 の 実 施	た 子 育 て 世 代 を 中 心 と し	農 業 体 験 等 が 簡 単 に で	動 の 市 民 団 体 活 動 、 地 域 活
全体(n=1000)		7.8	8.1	16.6	3.4	1.9	1.3	6.5	2.3	4.3
性	男性(n=500)	5.8	7.2	14.8	4.4	2.6	0.6	5.0	1.4	5.0
	女性(n=500)	9.8	9.0	18.4	2.4	1.2	2.0	8.0	3.2	3.6
年代	20代(n=197)	13.0	16.6	19.7	2.6	0.5	1.0	9.3	2.6	4.7
	30代(n=403)	10.6	8.8	19.7	4.2	1.5	2.0	7.9	2.2	3.7
	40代(n=400)	2.5	3.3	12.0	3.0	3.0	0.8	3.8	2.3	4.8
居住地	千葉県(n=200)	10.5	6.5	14.5	4.5	2.0	0.5	4.0	1.0	2.0
	東京都(n=200)	5.5	12.0	15.0	3.0	2.5	2.0	6.0	3.0	5.0
	神奈川県(n=200)	5.0	6.5	14.0	3.5	3.0	1.5	6.0	3.0	4.5
	埼玉県(n=200)	8.5	8.0	17.5	4.0	1.5	1.0	6.0	2.5	6.5
	茨城県(n=200)	9.5	7.5	22.0	2.0	0.5	1.5	10.5	2.0	3.5

(注)シャド一部分：全体平均より高いもの

《世帯別》

世帯別にみると、「転入に対する税制優遇や補助金」で比率が高いのは「一人暮らし」、「子育て世代への税制優遇や補助金」では「夫婦（自分）と子ども（未婚・既婚含む）」、「駅に近く利便性の高い住宅の整備」では「夫婦のみ」と「一人暮らし」、「自分と親」となっている。

そのほかの項目では、「高校生までの医療費無料制度」で比率が高いのは、「夫婦（自分）と子ども（未婚・既婚含む）」と「三世代」となっており、他の世帯に比べて高くなっている。

図表 46

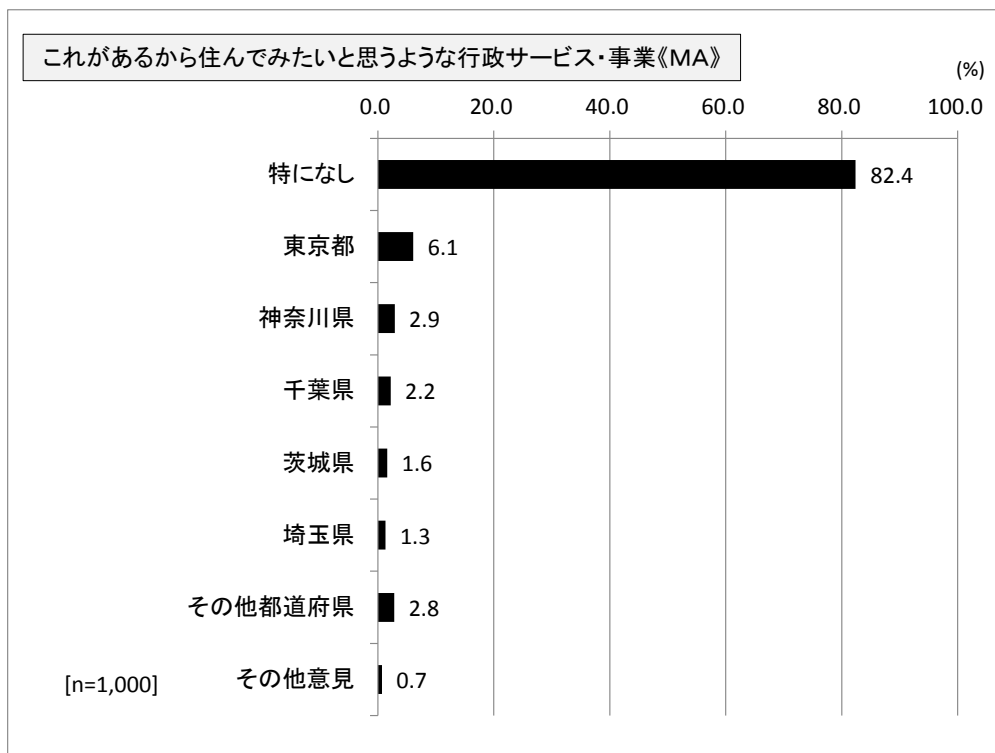
住宅購入のきっかけとなりそうな行政サービス・事業【世帯別】《MA》											(%)	
		助成			情報発信			住宅関連				
		や転 補入 対 す る 税 制 優 遇	子 育 て 世 代 へ の 税 制 優 遇	居 な ど 世 帯 住 宅 の 助 成	移 住 者 の 作 成	れ 転 入 の 相 談 に 乗 っ て く	ペ ー ジ の 開 設	定 住 促 進 専 用 の ホ ー ム	空 き 家 バ ン ク 制 度	大 規 模 な 住 宅 開 発	住 駅 に 近 く 利 便 性 の 高 い	大 規 模 商 業 施 設 の 誘 致
全体(n=1000)		43.0	28.1	9.3	5.4	7.6	3.4	10.7	7.9	33.8	15.6	
世帯別	一人暮らし(n=186)	48.4	11.3	4.3	5.9	12.9	4.8	10.8	6.5	38.7	16.7	
	夫婦のみ(n=233)	42.1	20.6	9.4	7.3	7.7	4.3	11.2	7.7	39.1	14.6	
	夫婦(自分)と子ども(未婚・既婚含む)(n=375)	41.3	46.1	8.8	3.5	4.5	2.9	7.2	7.7	28.0	13.9	
	自分と親(n=138)	40.6	10.9	9.4	4.3	10.1	2.9	18.8	10.9	37.0	20.3	
	三世代(n=44)	40.9	27.3	22.7	9.1	2.3	0.0	11.4	9.1	31.8	20.5	
		子育て支援			教育			地域連携				
		(保 育 園 延 び の 学 童 保 育)	必 ず 許 可 保 育 園 に 入 れ	料 高 校 生 ま で の 医 療 費 無	然 地 域 と 触 れ 合 う 教 育	学 校 の 誘 致	塾 地 域 と 連 携 し た 放 課 後	た 子 育 て 世 代 を 中 心 と 実 し	き 農 業 体 験 等 が 簡 単 に で	動 市 民 団 体 活 動 、 地 域 活		
全体(n=1000)		7.8	8.1	16.6	3.4	1.9	1.3	6.5	2.3	4.3		
世帯別	一人暮らし(n=186)	2.2	5.9	9.7	5.4	2.2	1.1	3.8	3.2	4.3		
	夫婦のみ(n=233)	5.6	8.2	9.9	2.1	1.3	2.1	3.9	3.4	4.3		
	夫婦(自分)と子ども(未婚・既婚含む)(n=375)	13.6	9.6	25.9	2.9	2.7	1.3	10.7	1.9	2.9		
	自分と親(n=138)	2.9	7.2	8.0	4.3	0.0	0.0	2.9	1.4	8.0		
	三世代(n=44)	9.1	9.1	22.7	2.3	4.5	2.3	6.8	0.0	4.5		

(注)シャドー部分:全体平均より高いもの

(2) これがあるから住んでみたいと思うような行政サービス・事業

これがあるから住んでみたいと思うような行政サービス・事業は、「特になし」が82.4%と最も高くなったものの、「東京都」の行政サービス・事業を回答した比率が6.1%、次いで神奈川県が2.9%などとなっている。

図表 47



市	件数	主な意見
横浜市	17件	待機児童ゼロなど
東京都江戸川区	11件	医療費無料 子育て支援など
浦安市	6件	子育て支援 東京ディズニーリゾートなど

◆資料

アンケート調査票

<我孫子市定住に関するアンケート調査>

ご協力をお願い

このアンケートは、千葉県の我孫子市(下記参照)が、首都圏にお住いの皆さまを対象として、住宅購入に関することやライフスタイルなどをお聞きし、市の定住化策を検討するうえでの基礎資料とすることを目的に実施するものです。ご回答いただいた内容は統計的な処理を行い、皆さまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

◇我孫子市について

1. 位置(下記「位置図」参照。都心から30km圏)

千葉県の北西部に位置し、東に印西市、南と西は手賀沼を隔て柏市があり、北は利根川をはさんで、茨城県取手市・北相馬郡利根町と隣接しています。

2. 都心から我孫子駅までの鉄道アクセス(我孫子駅は始発駅)

- ・JR常磐線で上野駅から30分強
- ・東京メトロ千代田線で大手町駅から50分強

3. 特徴

- ・北は利根川、南は手賀沼に面し、豊かな自然に恵まれたまちです。
- ・古代からの歴史があり、志賀直哉など白樺派の文人たちが移り住んだ、文化のかおり高きまちです。
- ・都心への通勤・通学圏にあり、東京のベッドタウンとして成長してきました。
- ・昭和61年から保育園の待機児童ゼロを堅持しています。

位置図



我孫子市定住に関するアンケート調査

【対象者】

性別	男女			
年齢	25歳～49歳			
居住地	我孫子市以外の千葉県、東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県			
属性	今後住宅を購入する意向あり			
属性	1 あなたの職業を選んでください。(1つだけ)	2 公務員・教員・団体職員	3 専門職(医師・弁護士・税理士等)	4 自営業(商、工、建築業、農業等)
	1 会社員	6 学生	7 主婦(主夫)	8 無職
	5 パート・アルバイト			
	9 その他			
	2 勤務先・通学先はどちらですか。	市区町村		
	都道府県	()		
	3 自宅から勤務先・通学先までの道のりかかりますか。(1つだけ)			
	1 15分未満	2 15分～30分未満	3 30分～1時間未満	4 1時間～1時間30分未満
5 1時間半～2時間未満	6 2時間以上			
4 あなたが通勤(通学)時間として許容できる時間はどのくらいですか。(1つだけ)				
1 15分未満	2 15分～30分未満	3 30分～1時間未満	4 1時間～1時間30分未満	
5 1時間半～2時間未満	6 2時間以上			
5 あなたの現在の居住形態を選んでください。(1つだけ)				
1 一戸建て(持ち家)	2 分譲マンション(持ち家)	3 一戸建て(賃貸)	4 民営アパート・マンション(賃貸)	
5 公営住宅(賃貸)	6 社宅(独身寮、公務員社宅を含む)	7 学生寮	8 その他	
6 あなたの同居家族を選んでください。(あてはまるものすべて)				
1 一人暮らし	2 配偶者	3 未婚の子ども	4 既婚の子ども	
5 親	6 祖父母	7 兄弟姉妹	8 その他()	
7 お子さんがいらっしゃる方におたずねします。お子さんはどちらにあてはまりますか。(あてはまるものすべて)				
1 未就学	2 小学生	3 中学生	4 高校生	
5 大学・専門学校生	6 社会人	7 その他()		
8 あなたの世帯の税込年収はいくらですか。(1つだけ)				
1 300万円未満	2 300～500万円未満	3 500～700万円未満	4 700～1,000万円未満	
5 1,000～1,500万円未満	6 1,500万円以上	7 答えたくない／わからない		
9 あなたは休日主にどんなことをすごしていますか。(3つまで)				
1 何もせず休養する	2 スポーツ、健康づくり	3 買い物	4 子どもと過ごす	
5 家族の習い事やスポーツの応援	6 観光、レジャー	7 自己啓発・習い事	8 地域活動(自治会、町内会など)	
9 映画鑑賞、音楽鑑賞	10 インターネット	11 テレビを見る	12 読書	
13 公園など近所への散歩	14 料理、掃除など家事全般	15 その他		
住宅購入について(定住について)	10 あなたは将来、親の近くに住みたいと思いますか。(1つだけ)			
	1 思う	2 やや思う	3 あまり思わない	4 思わない
	5 わからない			
	11 あなたは、将来あなたが生まれ育ったまちに住みたいと思いますか。(1つだけ)			
	1 思う	2 やや思う	3 あまり思わない	4 思わない
	5 わからない			
	12 定住するならどこに住みたいです。都道府県、市区町村をご記入ください。	都道府県(海外の場合は国名)	市区町村	
	()	()		
	13 問12を選んだ理由をお聞かせください。(3つまで)			
	1 その場所をよく知っているから	2 親や子どもが近くにいるから	3 親類・友人が近くにいるから	4 通勤・通学に便利だから
	5 公共交通の利便性が高いから	6 不動産や家賃等が適当な価格だから	7 自治体の税制優遇があるから	8 自然環境が良いから
	9 買い物に便利だから	10 子育て施策が充実しているから	11 医療福祉が充実しているから	12 災害に強いと思うから
	13 教育や文化的な環境が良いから	14 治安が良いから	15 その他()	
	14 あなたはどのような居住形態を望んでいますか。(あてはまるものすべて)			
	1 注文建住宅(新築)	2 分譲(建売)戸建住宅(新築)	3 戸建住宅(中古)	4 二世帯住宅(新築・中古)
	5 新築分譲マンション	6 中古分譲マンション	7 その他()	
	15 あなたが住宅購入を検討することになったきっかけはなんですか。(あてはまるものすべて)			
1 結婚	2 出産	3 子どもの進学	4 転勤	
5 親と同居	6 賃貸の契約更新時期だから	7 消費税が迫っているから	8 震災があったので	
9 その他()				
16 あなたが住む場所を決める際に重視する点はなんですか。(3つまで)				
1 親や子どもとの距離	2 親類・友人との距離	3 通勤先・通学先との距離	4 公共交通の利便性	
5 不動産価格	6 住宅関連の助成	7 自然環境	8 買い物の利便性	
9 保育園への入りやすさ	10 教育・文化的な環境	11 治安	12 その他()	
17 あなたは住宅購入のために情報収集をしていますか。また、どのような媒体を利用して情報を集めていますか。(あてはまるものすべて)				
1 自治体のホームページ	2 住宅情報のホームページ	3 その他のホームページ(具体的に:)	4 住宅情報雑誌	
5 新聞折り込み広告	6 住宅展示場やモデルルームなどで	7 不動産会社から	8 住宅メーカーから(営業マンなど)	
9 ファイナンシャル・プランナーなどの専門家から	10 金融機関(銀行等)から	11 その他()	12 情報収集はしていない	

18 我孫子市のイメージについて、それぞれあてはまるものを選んでください。

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	思わない
都心に近い	1	2	3	4	5
交通の便が良い	1	2	3	4	5
買い物が便利	1	2	3	4	5
自然豊か	1	2	3	4	5
治安がよい	1	2	3	4	5
子育てしやすい	1	2	3	4	5
地価が安い	1	2	3	4	5

19 あなたが我孫子市について知っていることを選んでください。(あてはまるものすべて)

1 手賀沼がある	2 千代田線始発駅である	3 成田線が通っている	4 常磐線が通っている
5 住宅関連の助成がある	6 保育園の待機児童がゼロ	7 小学校の学童保育の待機児童がゼロ	8 医療費助成が中学3年まで受けられる
9 白樺派の文人が多く住んでいた	10 白樺文学館がある	11 志賀直哉邸跡地がある	12 武者小路実篤邸跡地がある
13 嘉納治五郎の別荘跡地がある	14 杉村楚人冠記念館がある	15 鳥の博物館がある	16 山階鳥類研究所がある
17 手賀沼花火大会を開催	18 手賀沼エコマラソンを開催	19 ジャパンバードフェスティバルを開催	20 我孫子ゴルフ倶楽部がある
21 中央学院大学がある	22 川村学園女子大学がある	23 その他	24 知っていることはない

20 問19では我孫子市の特徴の一部を選択肢にあげています。我孫子市は住宅購入検討の候補地になると思いませんか。(1つだけ)

1 思う	2 やや思う	3 あまり思わない	4 思わない
------	--------	-----------	--------

21 問20を選んだ理由をお聞かせください。(あてはまるものすべて)

1 親や子どもが近くにいるから	2 親類・友人が近くにいるから	3 通勤・通学に便利だから	4 公共交通の利便性が高いから
5 不動産や家賃等が適当な価格だから	6 住宅関連の助成があるから	7 自然環境が良いから	8 買い物が便利だから
9 保育園に入りやすいから	10 教育・文化的な環境が良いから	11 治安が良いから	12 親や子どもが遠くにいるから
13 親類・友人が遠くにいるから	14 通勤・通学に不便だから	15 公共交通の利便性が悪いから	16 不動産や家賃等が高いから
17 他市町村の住宅支援策の方が良いから	18 自然環境に魅力を感じないから	19 買い物が不便だから	20 保育園に入れないと思うから
21 教育・文化的な環境が悪いから	22 治安が悪いから	23 放射能が心配だから	24 液状化した場所があるから
25 イメージがわからないから	26 その他()		

22 住宅購入のきっかけとなりそうな行政サービス・事業はありますか。あてはまるものを選んでください。(3つまで)

カテゴリ	選択肢	カテゴリ	選択肢
助成	転入に対する税制優遇や補助金	子育て支援	保育園並みの学童保育(時間延長)
	子育て世代への税制優遇や補助金		必ず認可保育園に入れる制度
	二世帯住宅、三世帯同居などへの助成		高校生までの医療費無料制度
情報発信	移住者歓迎パンフレットの作成	教育	地域資源を活かした自然と触れ合う教育
	転入の相談に乗ってくれる窓口の設置		ブランド力のある私立学校の誘致
	定住促進専用のホームページの開設		地域と連携した放課後塾の実施
住宅供給	空き家バンク制度	地域連携	子育て世代を中心としたコミュニティの充実
	大規模な住宅開発		農業体験等が簡単にできる仕組み
	駅に近く利便性の高い住宅の整備		市民団体活動、地域活動の支援
	大規模商業施設の誘致		

23 全国の市区町村でこれがあるから住んでみたいと思うような行政サービス・事業はありますか。
()都道府県 ()市区町村 ()区 内容()